

# A F I N A

ミニディスクレコーダー

## DM-VH7PC

### ユーザーズガイド

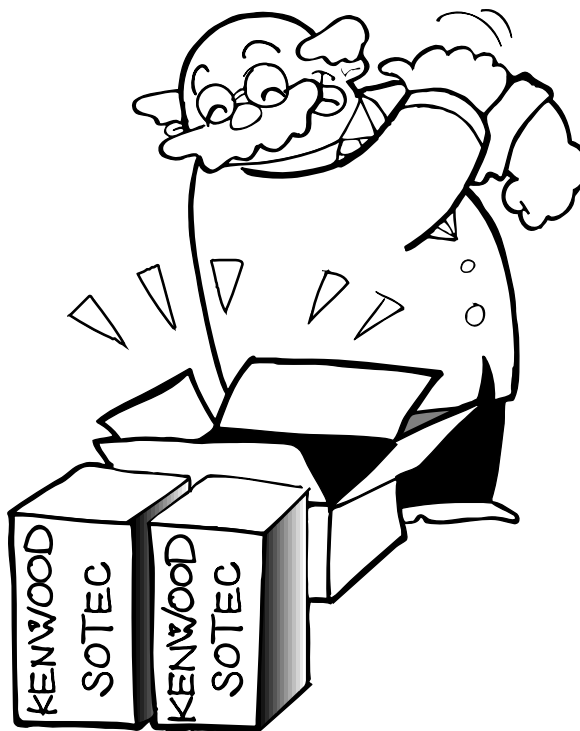
お買い上げいただきまして、ありがとうございます。  
ご使用前に、このユーザーズガイドをお読みの  
うえ、説明の通り正しくお使いください。  
また、ユーザーズガイドは大切に保管して、必要に  
なったときに繰り返しお読みください。  
本機は日本国内専用モデルですので、外国で使  
用することはできません。

設置の際は"設置のしかた"を必ずお読  
みのうえ正しく設置してください。

- 10 -

製造元 株式会社 ケンウッド  
KENWOOD CORPORATION

販売元 株式会社 ソーテック  
SOTEC CO.,LTD.



MDLP

B60-4824-00 00 (CH) (J) (AEP) 0005

## 2 はじめに

DM-VH7PC (JA)

### 本機の特徴

本機は、ミニディスクフォーマットのオーディオ機器です。ミニディスク(MD)は、光および光磁気 of 技術を応用して、ディスクに録音できる機能を持っています。下記の、便利で優れた数多くの特徴を備えています。

#### パソコンによる簡単操作

パソコンと接続することにより、パソコン側で基本操作をすることができます。

#### フリーレイアウト

縦置きに加え、従来の横置きにも対応しています。より自由なセッティングが可能になりました。

#### 長時間再生 / 録音が可能 (LP2/LP4)

ATRAC 3 (MDLP) 機能を搭載。最大で標準の約4倍の長時間再生 / 録音が可能になりました。

#### 多彩な編集機能

通常の編集 (MOVE、DIVIDE、COMBINE、ERASE) に加え、一度に曲順をまとめてかえることができる QUICK MOVE 機能や、任意の曲を簡単に ERASE することができる QUICK ERASE 機能など、多彩な編集機能を搭載しています。

#### 簡単なCD録音 (O.T.E.)

CDレシーバー (RD-VH7PC) と組み合わせてご使用のとき、お好みの曲をCDからワンタッチで録音することができます。

(O.T.E.: One Touch Edit)

#### 簡単操作、ワンタッチ・オペレーション

電源がオフ (スタンバイ時) でも、パネルの再生キーを押すだけで簡単に再生することができます。

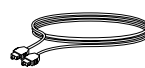
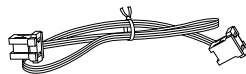
#### サンプリング・レート・コンバーター搭載

本機には、各種デジタルソース (32kHz、44.1kHz、48kHz) に対応した、サンプリング・レート・コンバーターを搭載しています。

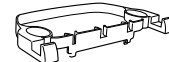
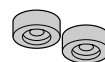
### 付属品

次の付属品がそろっていることを確認してください。

オーディオコード (2本) システムコントロールコード (1本) 光ファイバーケーブル (1本) 六角レンチ (1個)



リモートコントロールユニット (1個) リモコン用単3乾電池 (2本) 取り換え用前脚 (2個) スペーサー (1個)



MDコントロールコード (1本)




## 目次

△ このマークのついた項目は、安全確保のために必ずお読みください。

△ 安全上のご注意	4
△ 警告	5
△ 注意	7
△ 設置のしかた	10
置きかたを横置きに変更する	10
付属の脚と交換する	11
接続のしかた	12
RD-VH7PCとの接続	12
システム動作について	13
MDコントロールコードの接続	14
各部のなまえと働き	15
リモコンの使いかた	17
ミニディスク MDを聴く	18
1曲目から順に聴く	18
聴きたい曲を選ぶ	19
順不同で聴く (RANDOM再生)	19
聴きたい曲をタイトルで探す (TITLE SEARCH)	21
プログラムのしかた	22
曲順を自由にプログラムする	22
繰り返し聴く (REPÉAT)	24
録音のしかた	25
一般的な録音のしかた	25
さかのぼって録音 (MEMORY REC)	27
CDの1曲録音 (O.T.E.) / システム録音	28
CDの全曲録音 (O.T.E.) / システム録音	28
CDとのシンクロ録音 / システム録音	29
REC MODEキーについて	30
REC INPUT切り換えについて	32
MONITORキーについて	32
TIME DISP.キーについて (ディスプレイの表示)	32
編集機能	33
編集機能のタイプを選ぶ	33
再生中の曲を移動する (MOVE)	34
編集した内容を取り消すとき (EDIT CANCEL)	35
曲順をまとめてかえる (QUICK MOVE)	36
再生中の曲を分ける (DIVIDE)	38
再生中の曲をつなぐ (COMBINE)	40
曲をまとめて消す (QUICK ERASE)	42
再生中の曲を消す (ERASE)	44
タイトル編集のしかた	45
知っておきましょう	49
故障かな?と思ったら	52
保証とアフターサービス (必ずお読みください)	55
△ 定格	56

## 4 安全上のご注意

 この頁は、感電や火災からあなたを守るため、ご使用前に必ずお読みください。

DM-VH7PC (JA)

製品を安全にご使用いただくため、「安全上のご注意」をご使用前によくお読みください。

この「安全上のご注意」には、当社の本機以外のオーディオ機器全般についての内容も記載しています。(説明項目の中には、操作説明部と重複する内容もあります。)

### 絵表示について

このユーザーズガイドでは、製品を安全に正しくお使い頂き、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止する為に、いろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。内容を良く理解してから、本文をお読みください。



**警告**

この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。




**注意**


この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容、および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

### 絵表示の例




 記号は、注意(危険・警告を含む)を促す内容があることを告げるものです。図の中に具体的な注意内容(左図の場合は感電注意)が描かれています。



 記号は、禁止の行為であることを告げるものです。図の中や近傍に具体的な禁止内容(左図の場合は分解禁止)が描かれています。



 記号は、行為を強制したり指示する内容を告げるものです。図の中に具体的な指示内容(左図の場合は電源プラグをコンセントから抜け)が描かれています。

お客様、または第三者が、この製品の誤使用、使用中に生じた故障、その他の不具合またはこの製品の使用によって受けられた損害については、法令上の賠償責任が認められる場合を除き、当社は一切その責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。

本製品の故障、誤動作または不具合による、テープやディスク等へ記録された内容の損害、および録音、再生など、お客様または第三者が製品利用の機会を逸したために発生した損害等、付随的損害の補償については、当社は一切その責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。

# 警告

安全上のご注意 5

DM-VH7PC (JA)

## 交流 100 ボルト以外の電圧で使用しない

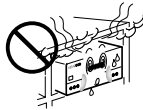


この機器は、交流 100 ボルト専用です。  
指定以外の電源電圧で使用しないでください。  
火災・感電の原因となります。

## 放熱に注意



設置の際は、壁から 10cm 以上離してください。  
機器のカバー等にある穴は、放熱のための通風孔ですので、ふさがないようにご注意ください。  
●あおむけや横倒し、逆さまにして使用しない。  
●風通しの悪い狭い所に押し込まない。  
●布を掛けたり、じゅうたん、布団の上において使用しない。



通風孔がふさがると、内部に熱がこもり、火災の原因となります。

## 風呂、シャワー室では使用しない



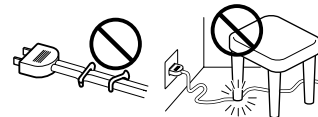
風呂、シャワー室など湿度の高いところや、水はねのある場所では使用しないでください。  
火災・感電の原因となります。



## 電源コードの取扱い



電源コードを傷つけたり、加工したり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったり、加熱したり、ステーブルや釘などで固定しないでください。また、電源コードの上に重いものをのせたり、コードが本機の下敷きにならないようにしてください。コードを敷物などで覆ってしまうと、気づかずに重いものをのせてしまうことがあります。コードが傷つき、火災・感電の原因となります。



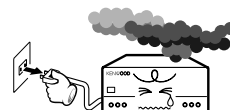
電源コードが傷ついたら（芯線の露出、断線など）修理をご依頼ください。  
そのまま使用すると火災・感電の原因となります。




## 異常が起きた場合は



煙が出たり、変な臭いや音が出る場合は、すぐに電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。  
そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。  
煙や、異臭、異音が消えたのを確かめてから修理をご依頼ください。




## 電源プラグは清潔に

 電源プラグの刃および刃の付近に埃や金属物が付着している場合は、電源プラグを抜いてから乾いた布で取り除いてください。そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。




## 落下した機器は使わない

 機器を落としたり、カバーやケースがこわれた場合は、電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて、点検、修理をご依頼ください。そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。




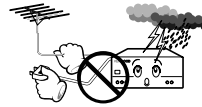
## ケースを絶対に開けないでください

 機器の裏ぶた、カバーを開けたり、改造をしないでください。内部には電圧の高い部分があり、火災・感電の原因となります。





## 雷が鳴り始めたら


 アンテナ線や電源プラグには触れないでください。感電の原因となります。



## 機器の内部に水や異物を入れない


 機器の上に花瓶やコップなど水の入った容器を置かないでください。こぼれて中に入ると、火災・感電の原因となります。

 機器の通風孔、開口部から内部に金属類や燃えやすいものなどを差し込んだり、落とし込んだりしないでください。火災・感電の原因となります。


 内部に水や異物などが入った場合は、まず電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて、点検、修理をご依頼ください。そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。



## 電池は放置しない

 電池は、幼児の手の届かないところへ置いてください。ボタン電池など小型の電池は特にご注意ください。電池をあやまって飲み込むおそれがあります。万一、お子さまが飲み込んだ場合は、ただちに医師と相談してください。

## 乾電池は充電しない

 乾電池は充電しないでください。電池の破裂、液漏れにより、火災・けがの原因となります。



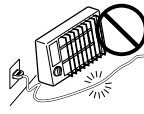
# ⚠ 注意

安全上のご注意 7

DM-VH7PC (JA)

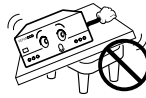
## 電源コードを熱器具に近づけない

- ❌ 電源コードを熱器具（ストーブ、アイロンなど）に近づけないでください。コードの被覆が溶けて、火災・感電の原因となることがあります。



## 不安定な場所には置かない

- ❌ ぐらついた台の上や傾いた所など、不安定な場所に置かないでください。落ちたり、倒れたりしてけがの原因となることがあります。



## 湿気やほこりのある場所に置かない

- ❌ 油煙や湯気の当たる調理台、加湿器のそば、湿気やほこりの多い場所には置かないでください。火災・感電の原因となります。



## 温度の高い場所には置かない

- ❌ 窓を閉めきった自動車の中や、直射日光が当たる場所など、異常に温度が高くなる場所に放置しないでください。本体や部品に悪い影響を与え、火災の原因となることがあります。



## 電源プラグの抜き差しは

- ❌ ぬれた手で電源プラグを抜き差ししないでください。感電の原因となることがあります。

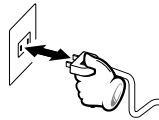
- ❌ 電源プラグは、根元まで差し込んでゆるみがあるコンセントに接続しないでください。発熱して火災の原因となることがあります。販売店や電気工事にコンセントの交換を依頼してください。

電源プラグを抜くときは、電源コードを引っ張らないでください。



コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。必ずプラグを持って抜いてください。

- ⚠ 電源プラグはコンセントに根元まで確実に差し込んでください。差し込みが不完全ですと発熱したり埃が付着して火災の原因となることがあります。また、電源プラグの刃に触れると感電することがあります。



## 長期間使用しないときは



旅行などで長期間、ご使用にならないときは、安全のため必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。  
火災の原因となることがあります。

## 指定以外のコードを使わない

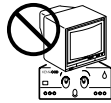


関連機器を接続する場合は、各々の機器のユーザズガイドをよく読み、電源を切り、説明に従って接続してください。また、接続は指定のコードを使用してください。  
指定以外のコードを使用したりコードを延長すると発熱し、やけどの原因となることがあります。

## 指定機器以外の物を乗せない



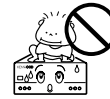
この機器の上に重いものや外枠からはみ出るような大きな物を置かないでください。  
バランスがくずれて倒れたり、落下して、けがの原因となることがあります。



## 機器に乗らない



この機器に乗ったり、ぶら下がったりしないでください。特にお子様にはご注意ください。倒れたり、こわれたりして、けがの原因となることがあります。



## 指をはさまない



お子様がカセットテープ、ディスク挿入口に手を入れないようご注意ください。  
指がはさまれて、けがの原因となることがあります。

## レーザー光源はのぞかない



レーザー光源をのぞき込まないでください。  
レーザー光が目にあたると視力障害を起こすことがあります。

## ひび割れディスクは使わない



ひび割れ、変形、または接着剤などで補修したディスクは、使用しないでください。  
ディスクは機器内で高速回転しますので、飛び散って、けがの原因となることがあります。



# ⚠ 注意

安全上のご注意 9

DM-VH7PC (JA)

## 音量に気をつけて

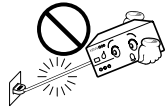


はじめに音量(ボリューム)を最小にしてください。突然大きな音がでて聴力障害などの原因となることがあります。ヘッドホンをご使用になるときは、音量を上げすぎないようにしてください。耳を刺激するような大きな音量で長時間続けて聴くと、聴力に悪い影響を与えることがあります。

## 移動させる際は



移動させる場合は、電源スイッチを切り、必ず電源プラグをコンセントから抜き、アンテナ線、機器間の接続コードなど外部の接続コードを外してから行ってください。コードが傷つき、火災、感電の原因となることがあります。



## 電池の取扱い



電池は誤った使い方をすると、破裂、液漏れにより、火災、けがや周囲を破損する原因となることがあります。次のことを、必ず守ってください。

- 極性表示(プラス "+" とマイナス "-" の向き)に注意し、表示通りに入れてください。



- 指定以外の電池は使用しないでください。また、新しい電池と古い電池を混ぜて使用しないでください。
- 電池は、加熱したり、分解したり、火や水の中に入れてください。

## お手入れの際は



お手入れの際は安全のため電源プラグをコンセントから抜いてください。感電の原因となることがあります。



3年に1度程度を目安に、機器内部の点検、清掃をお勧めします。(株)ソーテックテクニカルサポートセンタに費用を含めご相談ください。内部にほこりのたまったまま、長い間掃除をしないと火災や故障の原因となることがあります。

## 10 設置のしかた

DM-VH7PC (JA)

本機は、工場出荷時に取り付けられている脚を、お好みに合わせて付属の脚に取り換えることができます。  
また、RD-VH7PCを横向きで積み重ねて設置する場合は、付属の積み重ね用スペーサーを使って設置してください。

付属品をお確かめください

取り換え用前脚 .....	2個
積み重ね用スペーサー .....	1個
六角レンチ .....	1個



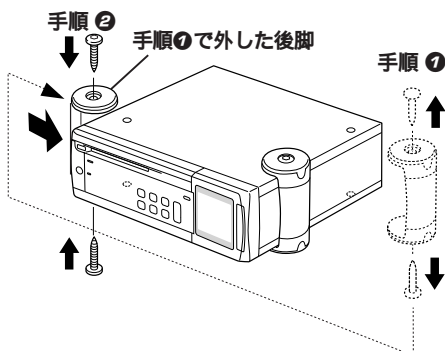
- この作業の前に、ミニディスクを取り出し、電源コードを抜いてください。
- 取り換えることができるのは前脚のみです。
- 脚の付け換え作業時は、必ず取り外したネジを使用してください。(別のネジを使うと火災や故障の原因となることがあります。)
- 設置後、あやまって本機を倒した場合、ミニディスクが挿入された状態のときは、ミニディスクに傷をつける恐れがあります。

### 置きかたを横置きに変更する

#### 脚の位置を移動する

下記に従って脚の取り付け位置を変更します。

- ① 正面向かって右側の後脚のネジ2本を六角レンチを使って取り外します。
- ② 外した後脚を左側面の前方にあるネジ穴に合わせて手順①で取り外したネジを使って取り付けます。

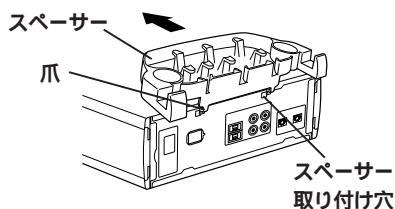


#### 積み重ねて設置する (RD-VH7PCを積み重ねる場合)

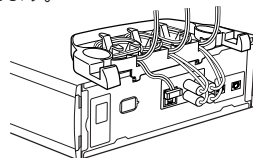
付属の積み重ね用スペーサーを使って設置します。

- ① 本機の背面の取り付け穴にスペーサーの爪を合わせて差し込みます。

**注意** 差し込む時、スペーサーを図のようにやや傾けて(20°程度)取り付け穴に合わせて差し込んでください。



- ② コードをスペーサーに巻き付けて整理する。  
図のようにスペーサーの溝にオーディオコード、システムコントロールコードを巻き付けて整理することができます。

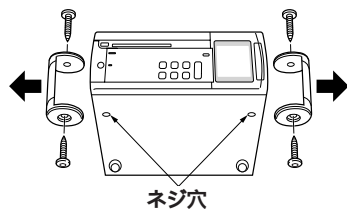


- ③ RD-VH7PCの脚をスペーサーの脚受けの凹みに合わせて重ねます。

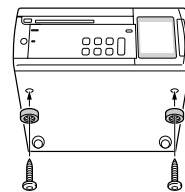
## 付属の脚と交換する

お好みにより付属の前脚と交換することができます。

- ① 前脚のネジ4本を六角レンチを使って取り外します。



- ② 付属の取り換え用前脚を取り付ける。このとき手順①で取り外したネジを使って取り付けます。



## 表示部のコントラストの調整について (本体のみ)

本体の表示部のコントラストを変えることができます。

- ① モード modeキーを押す。  
 ② コントラスト セット エンター モード ←、→キーを押して"CONTRAST SET?"を選び、enterキーを押す。  
 ③ モード ←、→キーを押してコントラストの調整をし、enterキーを押す。

- modeキーを2秒以上押すと、初期値に戻ります。

## 表示方向の切り換えについて (本体のみ)

本体の表示部は初期設定では縦置き、横置きに自動的に反応して表示方向を切り換えますオート(AUTO)が、手動で任意の方向に切り換えるマニュアル(MANUAL)こともできます。

手動での切り換えかた

- ① モード modeキーを押す  
 ② ウィンドウ セット エンター モード ←、→キーを押して"WINDOW SET?"を選び、enterキーを押す  
 ③ モード ←、→キーを押して"MANUAL"を選び、enterキーを押す  
 ④ モード ←、→キーを押して任意の方向に切り換え、enterキーを押す

## RD-VH7PCとの接続

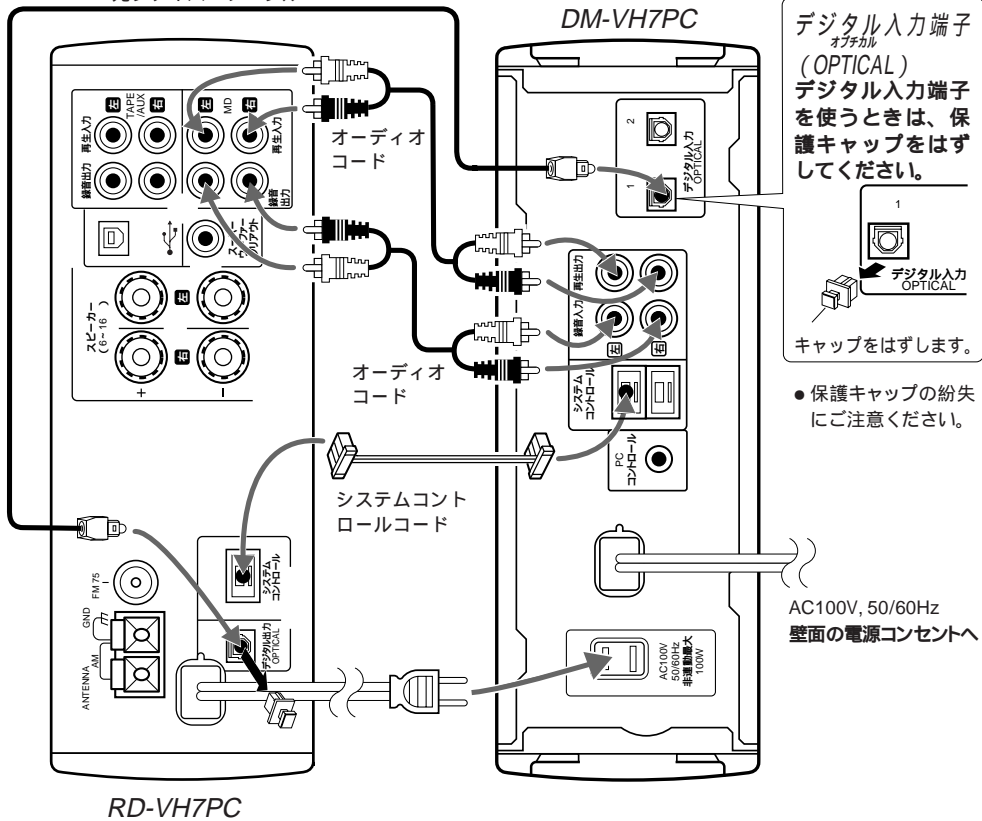
下図のように接続してください。  
 関連機器 (RD-VH7PC) のユーザーズガイドも合わせてご覧ください。  
 設置の際は、壁から10cm以上離してください。

**注意** 接続が完了してから、電源コードのプラグをコンセントに差し込んでください。

### マイコンの誤動作について

正しく接続したのに操作ができなかったり、ディスプレイが誤った表示をする場合は、「故障かな?と思ったら...」を参照してマイコンをリセットしてください。 - 52

光ファイバーケーブル



- CDの録音など、システム動作を確実に働かせる場合は、デジタル入力の"デジタル入力 1"に CDレシーバー (RD-VH7PC) を接続してください。 - 28、- 29、- 32

- "デジタル入力 2" は、市販のデジタル機器 (BSチューナー、DATなど) が接続できます。 - 32

### 警告 ACコンセント

DM-VH7PCの背面のACコンセントが供給できる電力は最大100Wです。  
 パソコン、モニター、電熱器具、ヘアドライヤー、電磁調理器などは接続しないでください。  
 また、供給電力以内であっても、テレビなど電源を入れたときに大電流が流れる機器は使用しないでください。

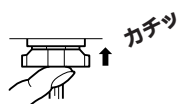
## 光ファイバーケーブルの接続について

CDレシーバー(RD-VH7PC)との接続に使用します。デジタル伝送により、CDの高音質を損なうことなく録音できます。

- 光ファイバーは真っ直ぐに、カチッと音がするまで差し込んでください。
- 端子を使わないときは、必ず保護キャップを付けておいてください。
- 光ファイバーケーブルは、絶対に折り曲げたり、束ねたりしないでください。

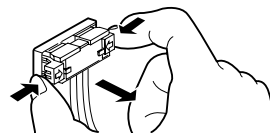
## システムコントロールコードの接続

### コネクタを差し込む



カチッと音がするまで平行に差し込みロックする

### コネクタを抜く



コネクタ部分の両端を押しながらまっすぐ引き抜く

## システム動作について

### イーザーオペレーションについて

本機が、CDレシーバー(RD-VH7PC)とシステムコントロールコードで接続されているとき、RD-VH7PC付属のリモコンで基本操作ができます。また、RD-VH7PCの入力切り換えに対応した動作をするイーザーオペレーション(双方向の操作)が可能です。詳しくは、RD-VH7PCのユーザーズガイドをお読みください。

### タイマー録音/再生について

本機が、CDレシーバー(RD-VH7PC)とシステムコントロールコードで接続されているとき、タイマー再生や放送のタイマー録音が可能です。詳しくは、本機のユーザーズガイドと、RD-VH7PCのユーザーズガイドを合わせてお読みください。  
本機:"一般的な録音のしかた"手順④~⑤のみ操作。

→ [25]、→ [26]



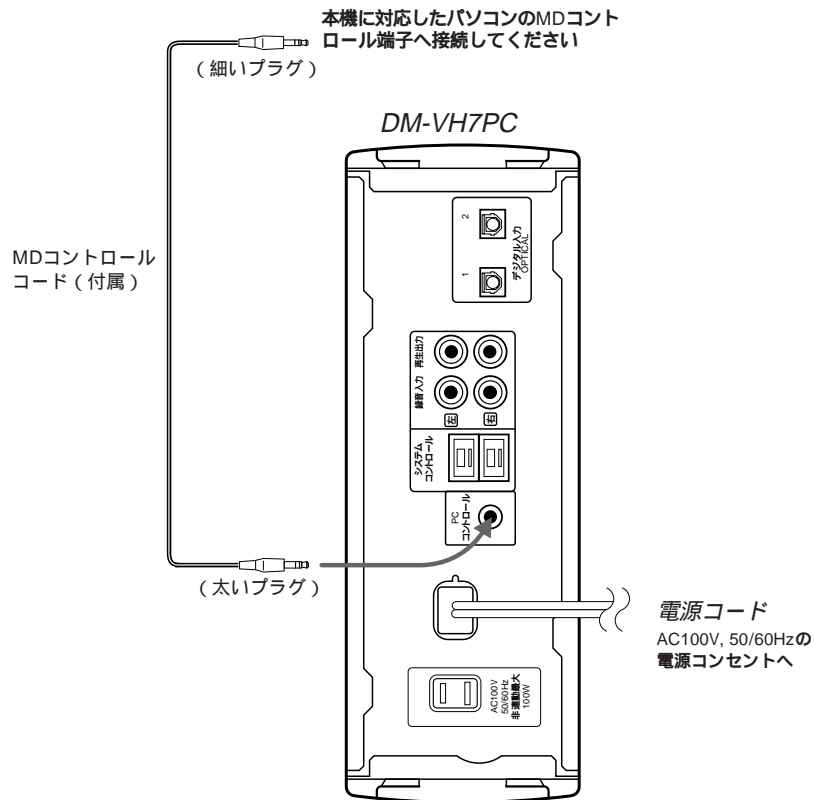
1. すべての接続コードは確実に差し込んでください。差し込みが不完全ですと、音が出なくなったり、雑音が発生することがあります。
2. 接続コードを抜き差しする場合は、必ず電源コードのプラグを電源コンセントから抜いてください。電源コードのプラグを抜かずして接続コードの抜き差しを行うと、誤動作または破損の原因となります。

## MDコントロールコードの接続

MDコントロールコードは、図のように接続します。  
本機に接続する機器のユーザーズガイドをお読みの上、正しく接続してください。  
システム接続してご使用の場合は、「RD-VH7PCとの接続」をご覧ください。 - 12

### 接続のご注意

接続が完了するまで、電源コードのプラグをコンセントに差し込まないでください。機器の接続は、図のように行ってください。

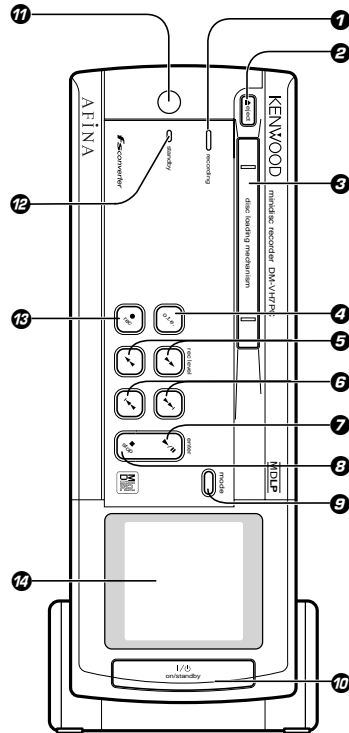


### パソコンとMDコントロールコードで接続したときの操作

本機とパソコンをMDコントロールコードで接続すると、パソコン側で本機を操作できます。

- パソコンおよびアプリケーションに付属しているユーザーズガイドをお読みの上、操作してください。
- パソコンでアプリケーション操作をしている場合に、本体およびリモコンを操作したとき表示部に"KEY LOCKED"の表示が出て、キー操作ができなくなった場合は、パソコンのアプリケーションを閉じてください。それができないときは本体またはリモコンのSTOPキーを数回押してください。

本体部 / 表示部

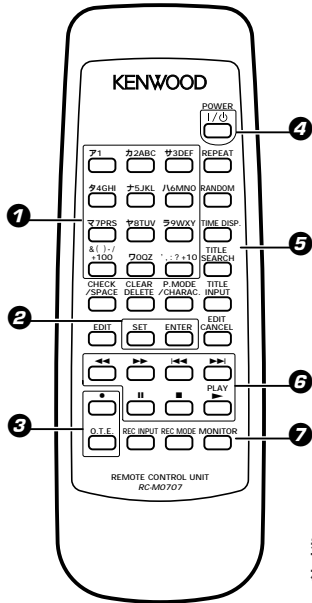


- ① レコーディング recordingインジケータ - ①
- ② イジェクト (▲ eject) キー/ディスクインジケータ - ②
- ③ ミニディスク挿入口 - ③
- ④ ワンタッチエディット (o.t.e.) キー - ④
- ⑤ 早送り、早戻し (◀▶) / rec level キー - ⑤
- ⑥ スキップ (◀▶) キー - ⑥
- ⑦ 再生、一時停止 (▶/⏸) / enterキー - ⑦
- ⑧ 停止 (■) キー - ⑧
- ⑨ modeキー - ⑨
- ⑩ "on/standby" (I/⏻) キー - ⑩
- ⑪ リモコン受光部 - ⑪
- ⑫ standbyインジケータ - ⑫
- ⑬ 録音 (● rec) キー - ⑬
- ⑭ 表示部 - ⑭

スタンバイ状態について

本機のスタンバイインジケータが点灯中は、メモリー保護のため、微弱な通電を行っています。これをスタンバイ状態といいますが、このとき、リモコン操作によっても電源のオンができます。

## リモコン部



型名:RC-M0707  
赤外線方式

## ① 数字キー

- : 希望の曲を指定します。 → 19
- : タイトル入力の際、文字や記号の選択に使用します。 → 47

## ② 編集操作キー

- SET キー** → 34  
: 編集処理の確定や、タイトル入力の確定に使用します。
- ENTER キー** → 35  
: 編集処理の実行や、タイトル入力の実行に使用します。

## ③ 録音操作キー

- : 録音キー → 26、→ 29
- : ワンタッチ編集キー → 28
- O.T.E. キー → 28  
: CDを、ワンタッチで録音したいときに使用します。

## ④ オン/スタンバイ (POWER I/O) キー

- : 電源をオン/オフ(スタンバイ)します。

## ⑤ 表示/プログラム操作キー

- REPEAT キー** → 24  
: 繰り返し聴くときに押します。
- RANDOM キー** → 19  
: ランダム再生のときに使用します。
- TIME DISP. キー** → 32  
: 時間表示モードを切り換えます。
- TITLE SEARCH キー** → 21  
: タイトルサーチモードの切り換えに使用します。
- CHECK/SPACE キー** → 23  
: プログラム内容を確認します。タイトル入力の際、1文字ぶんの空白を挿入します。
- CLEAR/DELETE キー** → 23  
: プログラムの内容を削除します。タイトル入力の際、文字を削除します。
- P.MODE/CHARAC. キー** → 22  
: プログラム再生のときに使用します。タイトル入力の際、文字グループの選択に使用します。
- TITLE INPUT キー** → 45  
: タイトル入力モードの切り換えに使用します。
- EDIT キー** → 34  
: 編集モードの切り換えに使用します。
- EDIT CANCEL キー** → 35  
: 編集の取消しに使用します。

## ⑥ 基本操作キー

- ◀▶**: 早送り、早戻しキー → 20  
: 編集の際、カーソルの移動や選んだ曲の確認ができます。 → 36、→ 42、→ 46
- ◀▶▶**: スキップキー → 20  
: 編集の際、トラックNo.やタイトル、文字の選択などに使用します。 → 36、→ 42、→ 46
- ⏸**: 一時停止キー    **■**: 停止キー
- ▶**: 再生キー

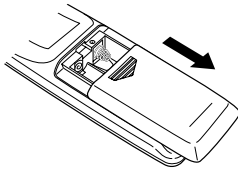
## ⑦ 応用操作キー

- REC INPUT キー** → 25、→ 29  
: 録音の入力ソースを切り換えます。
- REC MODE キー** → 30  
: 各種録音設定値調整モードのオン/オフをします。
- MONITOR キー** → 26、→ 29、→ 32  
: 入力ソースの音が聴けます。

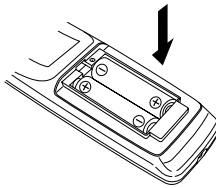


## 電池の入れかた

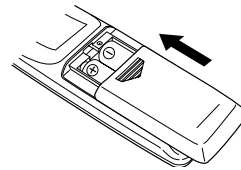
### 1 カバーを開ける



### 2 電池を入れる



### 3 カバーを閉める



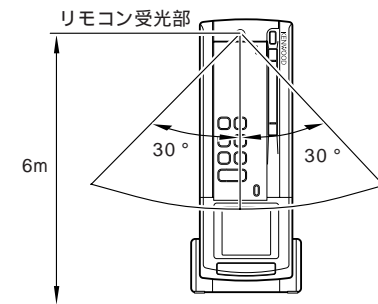
- 単3乾電池 (R6/SUM-3) 2個を極性マークに従って入れる。

## 操作のしかた

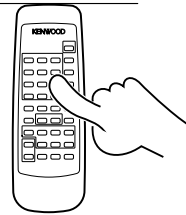
電源プラグをコンセントに差し込み、リモコンの オン スタンバイ (POWER I/⏻) キーを押すと、電源がオンになります。電源がオンになったら、操作したいキーを押します。

- リモコンの各操作キーを押してから次のキーを押すときは、約1秒以上の間隔をあけて確実に押してください。

- 操作手順で、キーを押してから次のキーを押すまで一定時間放置すると、元の状態に戻る動作があります。そのときは操作をやり直してください。



操作範囲のめやす



1. 付属の乾電池は動作チェック用のため、寿命が短いことがあります。ご了承ください。
2. 操作できる距離が短くなったら、全部新しい電池と交換してください。
3. リモコン受光部に直射日光や高周波点灯(インバーター方式等)の蛍光灯の光が当たると、正しく動作しないことがあります。このような場合、誤動作を避けるために設置場所を変えてください。

## ミニディスク 18 MDを聴く

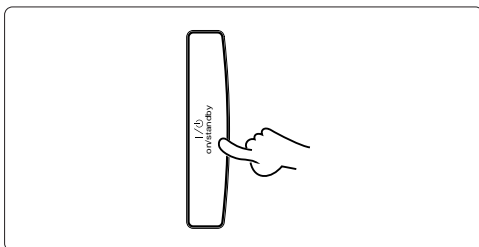
DM-VH7PC (JA)

本機は長時間( LP2、LP4、MONO )<sup>モノラル</sup>録音されたMDも再生  
できます。  
ミニディスクを、1曲目から、そのままの曲順で聴くときの使  
いかたです。

本体の正面図および操作キーは、横置きを図で表  
示しています。

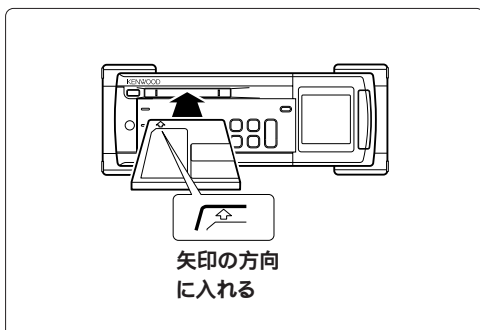
### 1 曲目から順に聴く

#### 1 電源を入れる



ミニディスクが入っていないとき

#### 2 ミニディスクを入れる

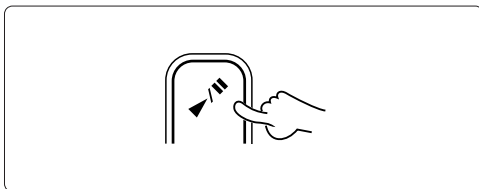


矢印の方向  
に入れる

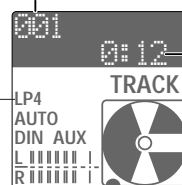
- ミニディスクを本機の挿入口へ確実に差し込んでくださ  
い。
- ミニディスクが挿入されるとディスクインジケーターが点  
灯します。
- "READING"<sup>リーディング</sup>が表示され、ミニディスクの内容を調べます。
- ミニディスクにタイトルが記録されているときは、タイトル  
を表示します。



#### 3 再生を始める



再生中のトラック番号



再生中の曲の経過時間

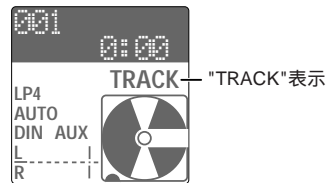


長時間録音されたMDの録音時間モードが点灯しま  
す。(LP2、LP4、MONO) → [31](#)

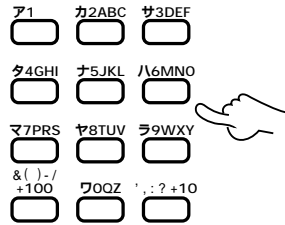
## 聴きたい曲を選ぶ

### 1 トラック "TRACK"モードにする

停止状態で操作する



### 2 聴きたい曲番号を選ぶ



数字キーを押す順序は..

23曲目: [+10] [+10] [3] の順に押す

40曲目: [+10] [+10] [+10] [+10] [0] の順に押す

ランダム

## 順不同で聴く (RANDOM再生)

毎回曲がランダム (無作為) に選択されるので、長時間でも飽きることなく楽しめます。

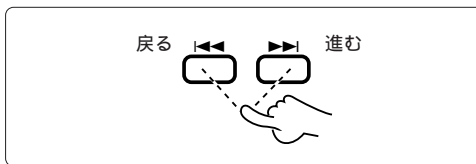


- 解除するには、もう一度RANDOMランダムキーを押します。

再生の途中で別の曲を選ぶには

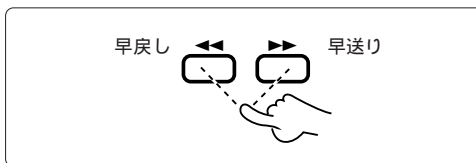
▶▶キーを押します。

### 曲を飛び越すには (スキップ)



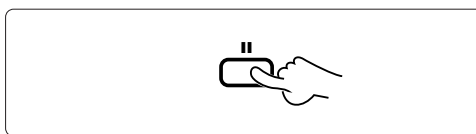
- 押した方向に飛び越して、選んだ曲の最初から再生します。
- 再生中に◀◀キーを1回押すと、その曲の最初に戻ります。
- さらに手前の曲にスキップするときは素早く◀◀キーを押します。

### 早送り・早戻しするには (サーチ)



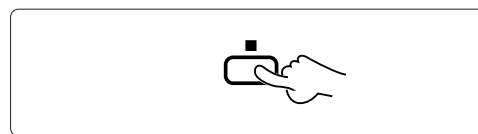
- キーから手を離れたところから、再生します。
- 一時停止中の早送り、早戻しは高速となり、音が出ません。
- プログラム再生時と、RANDOM再生時は、早戻しをして曲の初めまでくると、その曲を再生します。 → 19、→ 22

### 一時停止するには

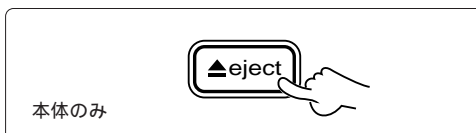


- 押すたびに、一時停止と再生が切り換わります。

### 再生を止めるには



### ミニディスクを取り出すとき



準備しましょう ● "TRACK"モードにする。



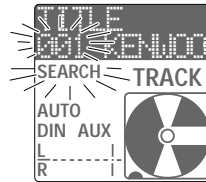
タイトル      サーチ

## 聴きたい曲をタイトルで探す (TITLE SEARCH)

### 1 TITLE SEARCHキーを押す



中止するときは、もう一度TITLE SEARCHキーを押します

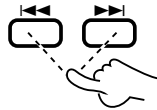


文字が左へ流れます

- タイトルの入力されていない曲は、トラック番号と "....."が表示されます。

### 2 聴きたい曲名 (タイトル) を選ぶ

トラック番号が戻る      トラック番号が進む



再生される曲      タイトル

- 数字キーでも選べます。

### 3 再生を始める



文字が左へ流れます

## 22 プログラムのしかた

DM-VH7PC (JA)

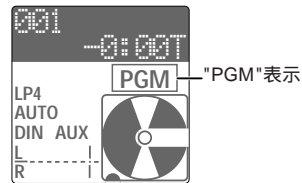
好きな曲を好きな順番にプログラムして聴くことができます。(最大32曲)

準備しましょう ● 停止状態にする。



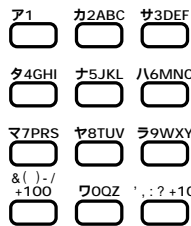
### 曲順を自由にプログラムする

#### 1 プログラム "PGM"モードにする



#### 2 聴きたい順に曲番号を選ぶ

##### ① 聴きたい曲番号を、順に選ぶ



##### ② 確定する



##### ③ 手順①と②を繰り返す

数字キーを押す順序は...

トラック番号12を選ぶとき、+10 ② の順に押す。  
プログラム順位



選曲

- 32曲まで選べます。それ以上は選べません。
- 間違えたときはCLEAR/DELETEキーを押してから、選び直してください。
- プログラム時間の合計が1000分以上になると、表示が"- - - : - -"になります。

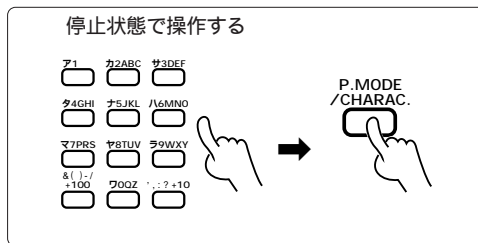
- トラック番号表示の点滅中に、P.MODE/CHARAC.キーを押さないと入力中止されます。

#### 3 再生する



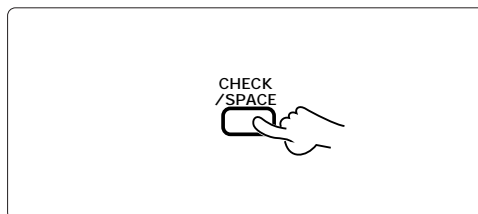
- 再生中に、◀◀ または ▶▶ キーを押すと、押した方向へ飛び越します。

### 曲を追加するには



- 選んだ曲番号は、プログラムの最後に追加されます。
- 表示点滅中にP.MODE/CHARAC.キーを押さないと入力  
が中止されます。

### 曲順を確かめるには



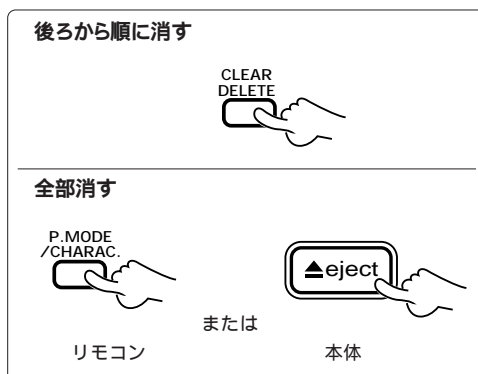
プログラム順位



トラックナンバー

- 押すたびに、プログラムされた曲を順に表示していきま  
す。

### プログラムした曲を取り消すには (停止状態で操作する)



取り消した曲のプログラム番号を表示



(PGM 14が取り消されたとき)

準備しましょう ● 停止状態にする。



## リピート 繰り返し聴く (REPEAT)

1曲またはディスク全体を繰り返すには

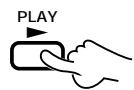
### ① "TRACK"モードにする



### ② "ONE REP."または"ALL REP."を表示させる



### ③ 再生する



リピート  
REPEATキーを押すたびに切り換わります。

- ワン  
ONE REP. : 1曲のみ繰り返します
- オール  
ALL REP. : 全曲繰り返します
- オフ  
OFF

ランダム  
● RANDOM再生で繰り返し聞きたいときは、手順③のあと  
RANDOMキーを押してください。このとき、「ONE REP.」、  
"ALL REP."にかかわらず、「REP.」と表示されます。

繰り返し再生をやめるには

REPEATキーを押して"OFF"を選びます。

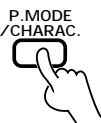
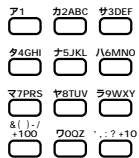
選んだ曲だけを繰り返すには

### ① 繰り返す曲を選ぶ

#### ① "PGM"モードにする



#### ② 好きな曲を選ぶ

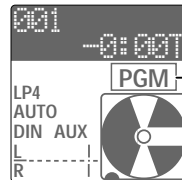
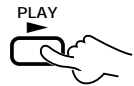


#### ③ 手順②を繰り返す

#### ④ "REP."を表示させる



#### ⑤ 再生する



"PGM"表示

- 選んだ曲全部を繰り返します。
- 1曲だけ選んだ場合は、その曲だけを繰り返します。

リピート  
REPEATキーを押すたびに切り換わります。

- ▶ REP. : 選んだ曲すべてを繰り返します
- OFF

繰り返し再生をやめるには

REPEATキーを押して"OFF"を選びます。



オーディオコードで接続されている入力端子には、アナログ信号が入ってきます。本機では、アナログ端子に入った信号を、デジタル信号に置き換えて録音します。(以後、アナログ録音と呼びます。)

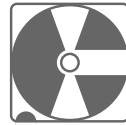
本機がCDプレーヤーなどと光ファイバーケーブルで接続されている場合、デジタル入力端子より入力された信号をデジタルの状態に録音します。(以後、デジタル録音と呼びます。)高音質の録音をお楽しみください。

準備しましょう ● 記録可能なミニディスクを入れる。

→ 50

● 録音可能時間を確かめる。 → 32

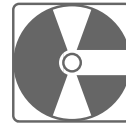
ミニディスク挿入時の表示について



記録可能なミニディスク



記録禁止されているミニディスク



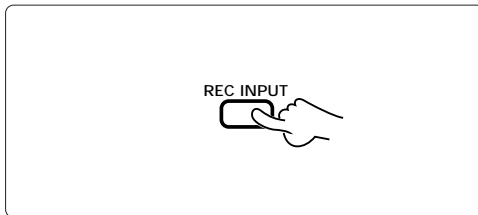
再生専用ミニディスク

## 一般的な録音のしかた

### 1 アンプの入力切り換えを録音したいソースにする

ロック インプット

### 2 REC INPUT (録音入力) を切り換える



RD-VH7PCとシステム接続されていない場合、押すたびに切り換わります。 → 32

アナログ  
DIGITAL 1  
DIGITAL 2

● デジタル録音するときは"DIGITAL 1"か"DIGITAL 2"、アナログ録音するときは"ANALOG"に切り換えます。

RD-VH7PCとシステム接続されている場合は、セレクトにより自動的に切り換わりますが、CDのときのみ押すたびに切り換わります。 → 32

ANALOG  
DIGITAL 1(DIN CD)

● システム接続されている場合は、カッコ内の表示になります。

### 3 REC MODEを設定する

ロック モード

→ 30

次ページに続く

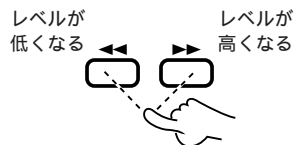
#### 4 録音レベルを調節する

① 録音したいソースを再生する  
(放送を録音するとき、この操作は不要です)

② "MONITOR"<sup>モニター</sup>表示にする  
録音レベルメーターが動きます



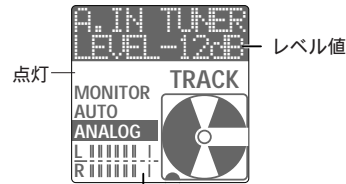
③ 録音レベルを調節する



④ 録音したいソースを停止する  
(放送を録音するとき、この操作は不要です)

- 録音中も、録音レベルを調節できます。
- モニターを解除するにはもう一度MONITORキーを押します。

RD-VH7PCとシステム接続されているときの表示例



ここがときどき点灯するように調節してください

- レベルメーターの縦のバーのひとつ前が、ときどき点灯するように調節します。
- アナログ録音時は-12dB、デジタル録音時は0dBが初期状態となっています。
- 本体のrec levelキーでも、操作できます。

#### 5 録音一時停止にする



- 録音(●)キーを押すと、自動的に録音一時停止になります。

#### 6 録音を始める



- 録音中にEDIT<sup>エディット</sup>キーを押すと、その位置にトラック番号が付けられます。
- II、▶/IIキーを押しても録音が始められます。

ディスプレイに下記の文字が表示されたとき、録音はできません。

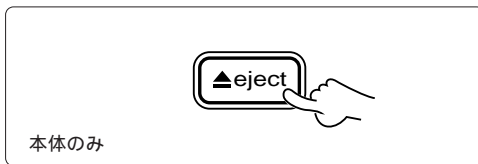
- "DISC FULL"<sup>ディスク フル</sup> : ミニディスクが一杯になっている。  
→ 不要な曲を消す。 → [42]
- "PROTECTED"<sup>プロテクト</sup> : 誤消去防止つまみが開いている。  
→ 閉める。 → [50]
- "PLAY ONLY"<sup>プレイ オンリー</sup> : 再生専用ミニディスクである。  
→ 録音用ミニディスクを入れる。

ディスプレイに下記の文字が表示されたとき、デジタル録音はできません。

- "UNLOCK"<sup>アンロック</sup> : サンプリング周波数が32kHz、44.1kHz、48kHzでない。  
→ アナログ録音にする。 → [25]、→ [29]
- : 光ファイバーケーブルが外れているか、接続が不完全である。(接続されていない)  
→ 光ファイバーケーブルを正しく接続する。  
→ [12]、→ [13]
- "SCMS" : SCMSによってデジタル録音禁止になっている。  
→ アナログ録音にする。 → [25]、→ [29]
- "NOT AUDIO"<sup>ノット オーディオ</sup> : 入力されているデジタル信号が、オーディオ信号でない。

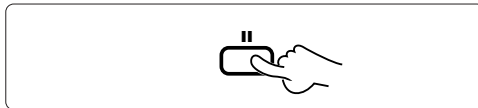
## 7 録音したいソースを再生する (放送を録音するとき、この操作は不要です)

## 8 録音終了後、ミニディスクを取り出す



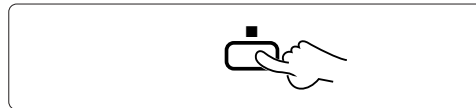
ライティング  
"WRITING"表示中は、録音や編集に関する情報をミニディスクに書き込み中のため、震動や衝撃を加えないでください。


### 録音を一時停止するには



- もう一度押すと、その時点から録音を再開します。
- ◀◀キーを押すと、約6秒さかのぼって録音を再開します。
- 録音(●)キーを押しても録音が始まります。

### 録音を途中でやめるには



 CDの録音時に、CDの再生が始まるとトラック番号が"1"繰り上がる場合があります。これはCDのデジタル信号成分中に含まれる信号のためです。不要なトラック番号は"曲をまとめて消す(QUICK ERASE または、再生中の曲を消す(ERASE))"を参照して削除してください。 - 42、- 44

## メモリー レック さかのぼって録音 (MEMORY REC)

キーを押した約6秒前の音声から録音をします。ラジオ放送を録音する時などに便利です。



- 録音一時停止の状態から6秒以上経たないと、6秒前からの録音はできません。

本機とCDレシーバー(RD-VH7PC)を、システムコントロールコードで接続すると、CD再生のときに気に入った曲をその場で選び、録音することができます。これをO.T.E. (One Touch Edit)機能といいます。また、CDとのシンクロ録音もできます。

#### 準備しましょう

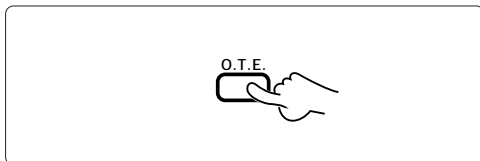
- CDレシーバーのデジタル出力を本機のデジタル入力 1 に接続する。 → 12
- CDレシーバーの入力切り換えをCDにする。
- 記録可能なミニディスクを入れる。 → 50
- REC MODEを設定する。 → 30

#### ワンタッチエディット

### CDの1曲録音 (O.T.E.) / システム録音

#### 1 録音したい曲を再生する

#### 2 O.T.E. キーを押す



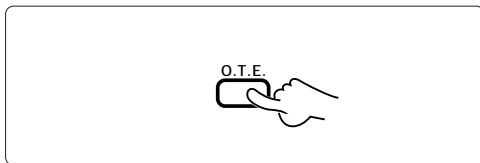
- CD再生状態でO.T.E.キーを押すと、再生中の曲の初めから再生し、1曲のみ録音します。
- その曲の録音が終了すると、MDレコーダーが停止します。CDレシーバーは一時停止します。
- O.T.E.録音では、録音入力DIN CD(デジタル)録音レベル0dBが自動的に選ばれます。
- O.T.E.録音中は、録音入力の切り換え、録音レベルの調節およびREC MODEの設定はできません。

録音を途中で止めるとき、停止(■)キーを押します。

### CDの全曲録音 (O.T.E.) / システム録音

#### 1 CDを停止する

#### 2 O.T.E. キーを押す



- CD停止状態でO.T.E.キーを押すと、CD全曲を録音します。
- 全曲の録音が終了すると、MDレコーダーとCDレシーバーは停止します。
- O.T.E.録音では、録音入力DIN CD(デジタル)録音レベル0dBが自動的に選ばれます。
- O.T.E.録音中は、録音入力の切り換え、録音レベルの調節およびREC MODEの設定はできません。

録音を途中で止めるとき、停止(■)キーを押します。

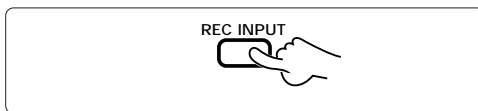
本機とCDレシーバー(RD-VH7PC)を、システムコントロールコードで接続すると、次の手順で録音(MD)と再生(CD)が同時にスタートするシンクロ録音をすると、音切れのない録音ができます。

### 準備しましょう

- CDレシーバーのデジタル出力を本機のデジタル入力 1 に接続する。 → 12
- CDレシーバーの入力切り換えをCDにする。 → 50
- 記録可能なミニディスクを入れる。 → 50

## CDとのシンクロ録音/システム録音

### 1 レック インプット REC INPUT (録音入力) を切り換える



押すたびに切り換わります。

→ 32

アナログ  
└ ANALOG  
└ DIN CD

- デジタル録音する時は"DIN CD"、アナログ録音する時は"ANALOG"に切り換わります。

### 2 レック モード REC MODE を設定する

→ 30

### 3 録音レベルを調節する

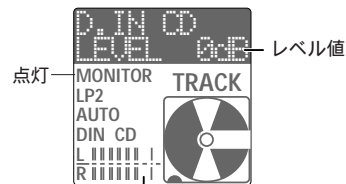
① 録音するCDを再生する  
モニター

② "MONITOR"表示にする  
録音レベルメーターが動きます

③ 録音レベルを調節する

レベルが低くなる      レベルが高くなる

- 録音中も、録音レベルを調節できます。
- モニターを解除するにはもう一度MONITORキーを押します。

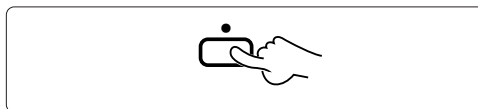


ここがときどき点灯するように調節してください

- レベルメーターの縦のバーのひとつ前が、ときどき点灯するように調節します。
- アナログ録音時は-12dB、デジタル録音時は0dBが初期状態となっています。
- 本体のrec levelキーでも、操作できます。

### 4 CDを停止する

### 5 録音一時停止にする



- 録音(●)キーを押すと、自動的に録音一時停止になります。

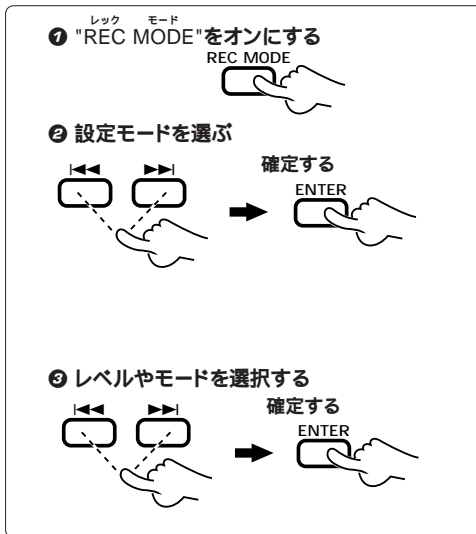
### 6 CDを再生する

- CDの再生を始めると、自動的にMDの録音を開始します。

## レック モード REC MODEキーについて (停止状態にして操作する)

長時間録音の設定や、録音時のトラック番号の付けかた、録音時のトラック番号に対する無音検出レベルの設定をします。

### 設定のしかた



◀▶キーを押すたびに切り換わります。

- トラック マーク セット  
① TRACK MARK SET ?  
: トラック番号のつけかたの設定 → [30]
- オート レベル セット  
② AUTO LEVEL SET ?  
: AUTO TNOの無音検出レベルの設定 → [31]
- レック モード セット  
③ REC MODE SET ?  
: 録音時間モードの設定 → [31]

- 手順②で選んだ"設定モード"の設定内容を手順③で選択します。
- 終了するときは、レック モードキーを押します。

### ① "TRACK MARK"表示を選択の場合

"TRACK MARK"表示のとき、ENTERキーを操作すると録音時、トラック番号を自動的に付けて録音するか、録音中または録音後手動でトラック番号を付けるかを設定する表示になります。このとき、◀▶キーで選択し、ENTERキーで確定します。初期設定は"AUTO"です。トラック番号は再生時、曲の頭出しやプログラムのときなどに使用します。

#### AUTO:

録音するときに、音のない部分が2秒以上続いた後、次の音が入ってくると、トラック番号を自動的に"1"繰り上げます。通常の録音時はこのモードにしておきます。1枚のCD全曲を録音する場合、このモードにします。

また、クラシック音楽などで小さい音が続いたとき、トラック番号が"1"繰り上がる場合があります。付いてしまったトラック番号は、後で削除できます。("再生中の曲をつなぐ(COMBINE)"-[40]を参照して削除してください。) このような音楽の場合は、MANUALで録音してください。

CDのデジタル録音のときは、デジタル信号の情報をもとに、トラック番号を自動的に"1"繰り上げます。無音の検出はしません。CDのマニュアルサーチ中にトラック番号が繰り上がった場合、MDでは正しくトラック番号が繰り上がらない場合があります。再生側のCDが停止すると、無音のトラックを作ることがあります。

#### MANUAL:

自動的にトラック番号を繰り上げない状態で録音します。録音中(EDITキーを押す)または録音後(DIVIDEを操作する-[39])トラック番号を付けることができます。

ライブ演奏や極端にレベルの低い音が続くクラシック音楽などのディスクを録音するときなどに便利です。

## ② "AUTO LEVEL" 表示を選択の場合

"AUTO LEVEL"表示のとき、ENTERキーを操作すると、オートトラックナンバーの無音検出レベルを設定する初期表示になります。このとき、◀◀、▶▶キーで無音検出レベルを選択し、ENTERキーで確定します。設定されたレベルが、検出レベルになります。初期設定は"0"となり、+3から-3までのレベルが設定できます。

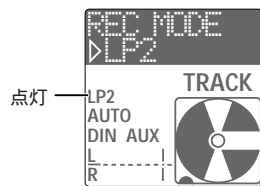
設定値	-3	-2	-1	0	+1	+2	+3
TNOが	繰り上りにくなる			◀→	繰り上り易くなる		

AUTO TNO (Automatic track number) AUTO LEVELで設定したレベルに運動して自動的にトラックナンバーを繰り上げる

## ③ "REC MODE" 表示を選択の場合 (長時間録音をする)

お好みに合わせて録音時間モードを、標準時間モードと長時間モードに切り換えることができます。停止中またはディスク挿入無し状態でも切り換えることができます。録音中、再生中および一時停止中は切り換えできません。

"REC MODE"表示のとき、ENTERキーを操作すると、録音モードを設定する表示になります。このとき、◀◀、▶▶キーで録音モードを選択し、ENTERキーで確定します。初期設定は"STEREO"になっています。



◀◀、▶▶キーを押すたびに切り換わります。

- ◀◀、▶▶キーを押すたびに切り換わります。
- STEREO (標準時間モード)  
標準録音時間でステレオ録音をします
- LP2 (長時間モード)  
標準録音時間の約2倍の長時間ステレオ録音をします
- LP4 (長時間モード)  
標準録音時間の約4倍の長時間ステレオ録音をします
- MONO (標準時間モード)  
標準録音時間でモノラル録音します (ステレオ録音の約2倍の長時間録音をします)

● 設定が"STEREO"のとき表示は点灯しません。

## 長時間モードについて (LP2、LP4)

長時間モードの録音は、標準時間モードに比べ音声のデジタル圧縮率をさらに高めたことにより、長時間の録音を可能にしています。

## 長時間モードで録音したディスクを長時間モードに対応していない機器で再生した場合

ディスクは再生状態 (走行表示、経過時間等は表示されます) にはなりますが音はでません。標準時間モードと長時間モードで録音したトラックが混在しているディスクを長時間モードに対応していない機器で再生した場合、標準モードで録音したトラックのみ音がでます。このようなディスクを再生するとき音がでない状態で音量を上げ過ぎると、トラックがかわったときに突然大きな音がでることになります。音量の上げ過ぎにご注意ください。

異なる録音モードで録音したトラックはMDの編集機能で制限があります。"再生中の曲をつなぐ (CONBINE)" (40)

## レック インプット REC INPUT切り換えについて

### アナログ ANALOG

：録音入力端子に接続されている録音入力をステレオ録音します。チューナーの時に選びます。

### デジタル DIN CD/DIGITAL 1

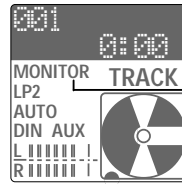
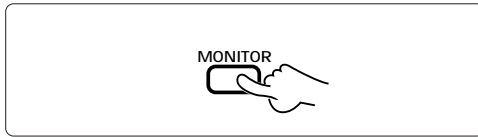
：デジタル入力(OPTICAL)端子に接続されている録音入力をデジタル録音します。システム接続されたCDをデジタル録音する時などに選びます。

### デジタル DIN AUX/DIGITAL 2

：デジタル入力(OPTICAL)端子に接続されている録音入力をデジタル録音します。外部機器(BSチューナーやDAT)をデジタル録音する時などに選びます。

## モニター MONITORキーについて

レック インプット  
REC INPUTで選ばれた入力ソース(音)をモニターすることができます。

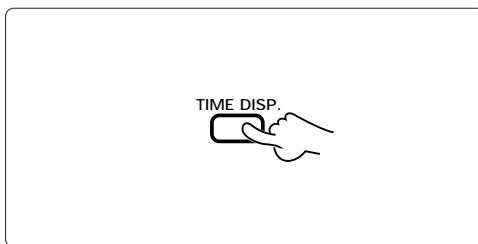


"MONITOR"表示

- デジタル入力信号のサンプリング周波数が48kHz、44.1kHz、32kHz以外のときは、"UNLOCK"が表示され音は出ません。
- MDの再生を行うと、モニターは解除されます。

## タイム ディスプレイ TIME DISP.キーについて (ディスプレイの表示)

時間表示のタイプを切り換えることができます。



押すたびに切り換わります。

### 再生中/停止中

- ① SINGLE (+) : 曲の経過時間
- ② SINGLE (-) : 曲の残り時間
- ③ TOTAL (+) : 曲の総経過時間
- ④ TOTAL (-) : 曲の総残り時間
- ⑤ REMAIN : ディスクの録音可能(残量)時間
- ⑥ TITLE : ディスクタイトル表示(停止時)/トラックタイトル表示(再生時)

### 録音中

- ① SINGLE (+) : 録音中の曲の経過時間
- ② TOTAL (+) : 録音時の総経過時間
- ③ REMAIN : ディスクの録音可能(残量)時間



市販の録音用ミニディスクを使うと、録音後に各種の編集を行なうことができます。再生専用のミニディスクは編集できません。(「PGM」と「RANDOM」が表示されているときは、編集できません。)

MDはディスクからメモリーに読み込まれた情報を元に動作します。取り出し操作をした時に、情報をディスクに書き込みます。タイトル入力後、および編集後は必ずミニディスクを取り出してください。

### MD規格上の機能制限について

MDのいくつかの機能には、規格上の制限があります。故障とお考えになる前に、「MD規格上の症状」をご確認ください。

- 52

## 編集機能のタイプを選ぶ

**曲順の入れ換え**

再生中の曲を移動する(MOVE) ムーブ → 34

曲順をまとめてかえる(QUICK MOVE) クイック ムーブ → 36

**曲の分割と結合**

再生中の曲を分ける(DIVIDE) ディバイド → 38

再生中の曲をつなぐ(COMBINE) コンバイン → 40

**曲の消去**

再生中の曲を消す(ERASE) イレース → 44

全曲消す(ALL ERASE) オール イレース → 42

曲をまとめて消す(QUICK ERASE) クイック イレース → 42

移動させたい曲を再生して、目的のトラック番号の位置へ移動します。前後の曲のトラック番号は、自動的に調整されます。繰り返し行うことで、目的の曲順に並べかえることができます。

準備しましょう ● 移動する曲を再生する。



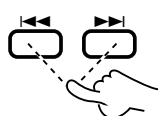
## 再生中の曲を移動する (MOVE)

### 1 "MOVE" を選ぶ

① EDITキーを押す



② "MOVE" を選ぶ



③ 確定する



● 再生一時停止中にも編集できます。

◀◀ ▶▶ キーを押すたびに切り換わります。

- ① DIVIDE
- ② COMBINE
- ③ ERASE
- ④ MOVE

● 途中で8秒以上放置すると、編集は中止されます。



### 2 移動先を選ぶ

① 曲(トラック番号)を選ぶ

トラック番号が  
戻る

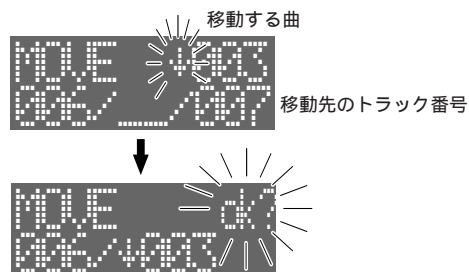
トラック番号が  
進む



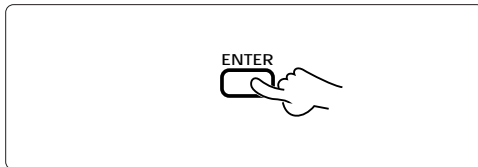
② 確定する



トラックNo.6とNo.7の間に移動する例



### 3 曲の移動をする

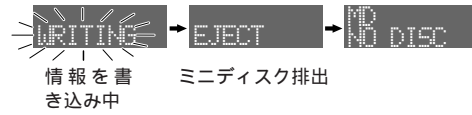
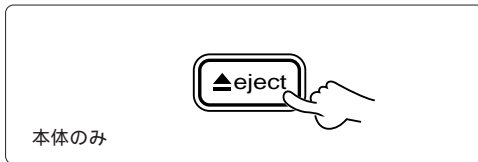


#### 実行後の表示

エディット ナウ  
EDIT NOW : 編集  
コンプリート  
COMPLETE : 編集完了  
キャント エディット  
CAN'T EDIT : 編集不可能

- 誤って実行をした場合は、<sup>エディット キャンセル</sup>"EDIT CANCEL"の操作をする  
と編集前の状態に戻ります。 - 35

### 4 ミニディスクを取り出す



<sup>ライティング</sup>  
"WRITING"表示中は、録音や編集に関する  
情報をミニディスクに書き込み中のため、震  
動や衝撃を加えないでください。

## 編集した内容を取り消すとき (EDIT CANCEL)

エディット キャンセル

ミニディスクを取り出す前に、次のキー操作をすると、ディスクを入れたときと同じ状態に戻すことができます。  
取り消し後、あらためて各編集の操作をしてください。

停止状態で操作する



- ミニディスクを取り出す前に録音をした場合、および <sup>ユートック エラー</sup>"UTOOC ERROR"表示後の編集は、取り消しができませんのでご注意ください。

並べかえたい順に曲(トラック番号)を選んで、曲順をまとめてかえます。

準備しましょう ● 停止状態にする。



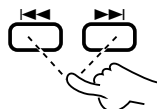
## 曲順をまとめてかえる (QUICK MOVE)

### 1 クイックムーブ "Q.MOVE"を選ぶ

① EDITキーを押す



② "Q.MOVE"を選ぶ



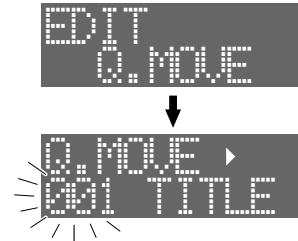
③ 確定する



◀▶▶▶ キーを押すたびに切り換わります。

- ① Q.MOVE
- ② Q.ERASE
- ③ CANCEL

● 途中で8秒以上放置すると、編集は中止されます。



### 2 並べかえたい順に曲を選ぶ

① 曲(トラック番号)を選ぶ

トラック番号が戻る      トラック番号が進む



② 確定する



③ 手順①と②を繰り返す

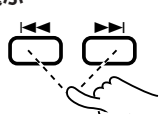
④ 並べかえたい曲の選択を終了する




- 32曲まで選ぶことができます。
- ◀▶▶▶ キーで、選んだ曲順の確認ができます。
- CLEAR/DELETE キーを押すと、最後に選んだ曲(トラック番号)を取り消すことができます。

### 3 曲順を並べかえる


① 移動先を選ぶ



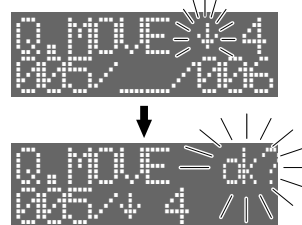
② 確定する



③ 曲順を並べかえる



トラックNo.5とNo.6の間に移動する例




実行後の表示

- エディット ナウ EDIT NOW : 編集**中**
- コンプリート COMPLETE : 編集**完了**
- キャンセル エディット CAN'T EDIT : 編集**不可能**

- 誤って実行をした場合は、エディット キャンセル "EDIT CANCEL" の操作をする  
と編集前の状態に戻ります。 → 35

### 4 ミニディスクを取り出す

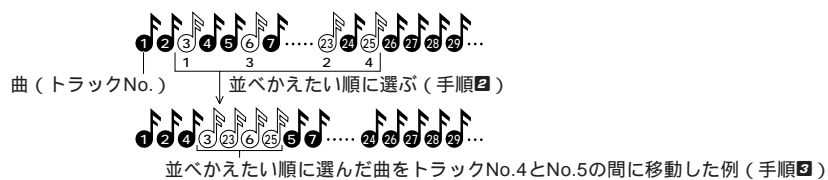


本体のみ



ライティング  
"WRITING" 表示中は、録音や編集に関する情報をミニディスクに書き込み中のため、震動や衝撃を加えないでください。

### 曲順をまとめてかえるイメージ



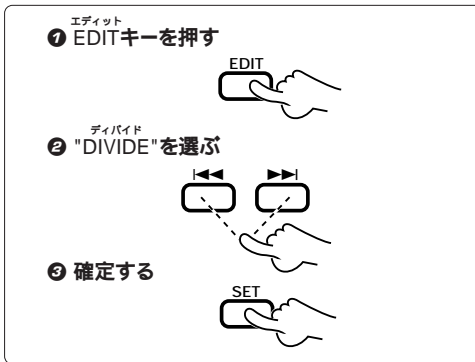
曲の途中にトラック番号(曲番号)を追加することにより、曲を分割します。特に聴きたいところにトラック番号を追加しておく、再生のときスキップができるので便利です。分割した曲より後ろでは、トラック番号が自動的に繰り上がります。プレビュー機能を使って、分割点を繰り返し聴きながら微調整が出来ます。

## 再生中の曲を分ける (DIVIDE) ディバイド

### 1 分割したい曲を再生する

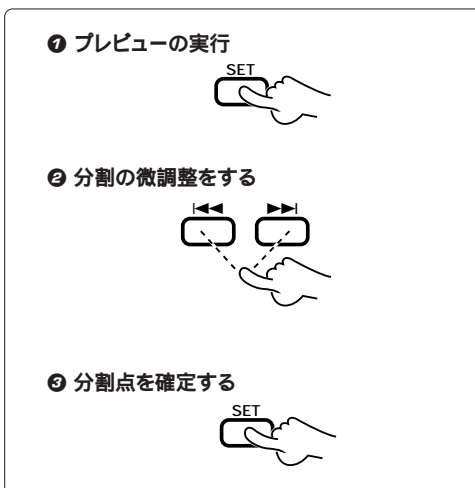
- 再生一時停止中にも編集できます。

### 2 希望の所で エディット EDITキーを押す



♪ プレビューをしないときは、一度 エンター ENTER キーを押してから手順②へ進みます。

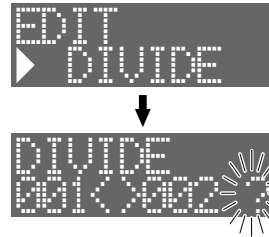
### 3 プレビューをするとき



◀▶▶▶ キーを押すたびに切り換わります。

- ① DIVIDE
- ② COMBINE
- ③ ERASE
- ④ MOVE

- 途中で8秒以上放置すると、編集集中は中止されます。



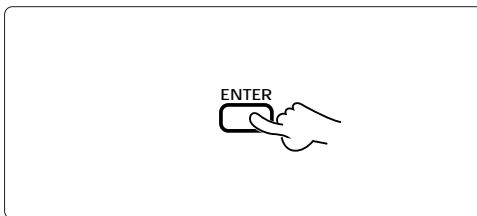
- 分割点から約3秒が繰り返し再生されます。



- 分割点の微調整は、EDITキーを押した所を0として、60ms (6/100秒)単位で -31 ~ +31ステップ(約4秒の範囲)で可能です。



#### 4 曲の分割を実行する



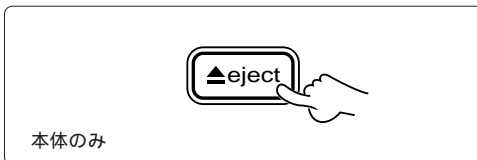
手順① ~ ④を繰り返して、最大255までトラック番号を追加できます。

#### 実行後の表示

<sup>エディット ナウ</sup>  
EDIT NOW : 編集中  
<sup>コンプリート</sup>  
COMPLETE : 編集完了  
<sup>キャンセル エディット</sup>  
CAN'T EDIT : 編集不可能

- 誤って実行をした場合は、"<sup>エディット キャンセル</sup>EDIT CANCEL"の操作をすると編集前の状態に戻ります。 → 35
- 分割で生まれた曲間には、無音部分がありません。
- MD規格の制限で、曲を分けられない場合があります。

#### 5 ミニディスクを取り出す



本体のみ

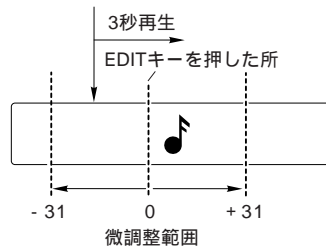


情報を書き込み中      ミニディスク排出

<sup>ライティング</sup>  
"WRITING"表示中は、録音や編集に関する情報をミニディスクに書き込み中のため、震動や衝撃を加えないでください。

### プレビューのイメージ

分割の微調整で選んだ所



トラック番号を削除することにより、2つの曲をつないで1曲にします。いくつかの曲や、細かく分割されている曲をまとめることができます。つないだ曲より後ろの曲は、トラック番号が通し番号で自動的に調整されます。

異なる録音時間モードで記録されたトラックは、つなぐことができません。  
(例："LP2"+"LP4"など)

## 再生中の曲をつなぐ (COMBINE)

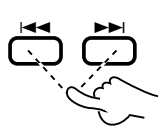
### 1 つなげたい曲を再生する

### 2 "COMBINE"を選ぶ

① EDIT キーを押す



② "COMBINE"を選ぶ



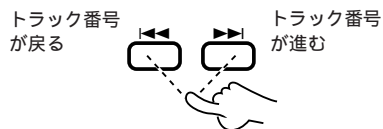
③ 確定する



再生中の曲と、次の曲をつなぐ場合は、ENTER キーを押してから手順 ④へ進みます。

### 3 他の曲をつなぎたい場合

① 曲(トラック番号)を選ぶ



② 確定する



● 再生一時停止中にも編集できます。

● 再生中に編集を始めると、一時停止になります。

◀▶▶▶ キーを押すたびに切り換わります。

- ① DIVIDE
- ② COMBINE
- ③ ERASE
- ④ MOVE

● 途中で8秒以上放置すると、編集は中止されます。

EDIT  
COMBINE

↓ 現在の曲

CON. 002+  
003 TITLE

次の曲

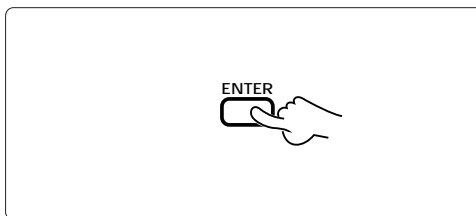
2曲目と5曲目をつなぐ場合

CON. 002+  
005 ABCDEF

COMBINE OK  
002+005



#### 4 曲と曲の結合を実行する

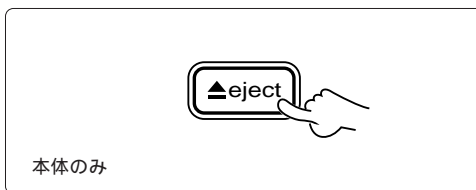


#### 実行後の表示

エディット ナウ  
EDIT NOW : 編集  
コンプリート  
COMPLETE : 編集完了  
キャント エディット  
CAN'T EDIT : 編集不可能

- 誤って実行をした場合は、"EDIT CANCEL"の操作をする  
と編集前の状態に戻ります。 → 35
- MD規格の制限で、曲をつなぐことができない場合があります。

#### 5 ミニディスクを取り出す



ライティング  
"WRITING"表示中は、録音や編集に関する  
情報をミニディスクに書き込み中のため、震  
動や衝撃を加えないでください。

停止中に、選んだ曲または全曲消去することができます。消去すると元に戻せない場合がありますので、十分注意してください。

準備しましょう ● TRACKモードにして停止状態にする。



クイック イレース

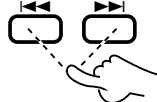
## 曲をまとめて消す (QUICK ERASE)

### 1 クイックイレース "Q.ERASE"を選ぶ

① EDITキーを押す



② "Q.ERASE"を選ぶ



③ 確定する



◀◀ ▶▶ キーを押すたびに切り換わります。

- ① Q.MOVE
- ② Q.ERASE
- ③ CANCEL

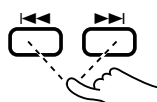
●途中で8秒以上放置すると、編集は中止されます。



● 全曲を消去する場合は、「ALL?»の表示中にENTERキーを押してから手順②へ進みます。

### 2 消したい曲を選ぶ

① 削除したい曲を選ぶ



② 確定する

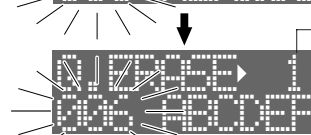


③ 手順①②を繰り返す

④ 選択を終了する



削除したい曲番を表示させる



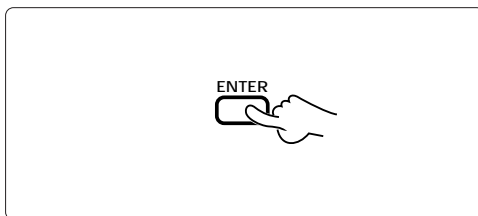
選ばれたトラックの数  
または消去選択群

- 32曲まで選ぶことができます。
- ◀◀ ▶▶ キーで、選んだ曲の確認ができます。
- CLEAR/DELETE キーを押すと、最後に選んだ曲が、消去選択群の中から削除できます。



削除する曲数

### 3 消去を実行する

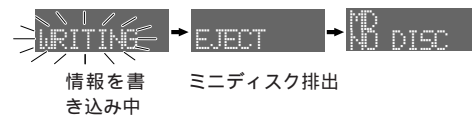
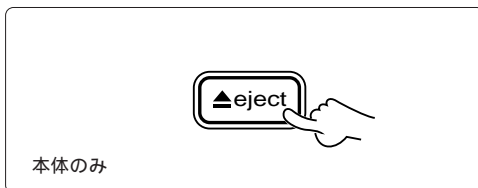


#### 実行後の表示

エディット ナウ  
 EDIT NOW : 編集  
コンプリート  
 COMPLETE : 編集完了  
キャンセル エディット  
 CAN'T EDIT : 編集不可能

- 誤って実行をした場合は、"エディット キャンセルEDIT CANCEL"の操作をすると編集前の状態に戻ります。 → 35

### 4 ミニディスクを取り出す



ライティング  
 "WRITING"表示中は、録音や編集に関する情報をミニディスクに書き込み中のため、震動や衝撃を加えないでください。

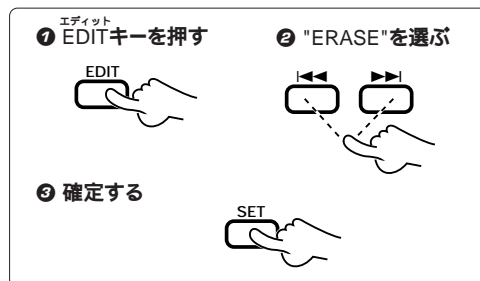
再生中にその曲のみ消去することができます。消した直後の曲のトラック番号が調節されます。消去すると元に戻せない場合がありますので、十分注意してください。



イレース

## 再生中の曲を消す (ERASE)

### 1 "ERASE" を選ぶ



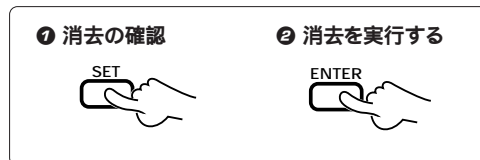
◀◀ ▶▶ キーを押すたびに切り換わります。

- ① DIVIDE
- ② COMBINE
- ③ ERASE
- ④ MOVE

● 途中で8秒以上放置すると、編集は中止されます。



### 2 消去を実行する

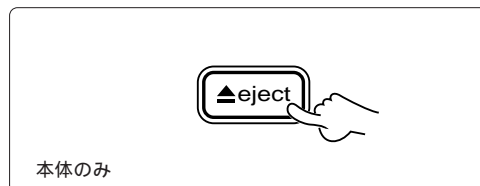


消去するトラック番号



- 再生中の曲が消去されます。(トラックタイトル含む)
- 誤って実行をした場合は、"EDIT CANCEL" の操作をすると編集前の状態に戻ります。 - 35

### 3 ミニディスクを取り出す



ライティング  
"WRITING" 表示中は、録音や編集に関する情報をミニディスクに書き込み中のため、震動や衝撃を加えないでください。

ミニディスクや曲にタイトルを付けておくと、再生のとき表示されるだけでなく、タイトルサーチ(タイトルで曲を探す)が可能になります。入力したタイトルは、同じ手順で変更や消去ができます。

本機の操作では漢字の入力はできません。

### タイトルメモ

よく使うタイトルやお好みのタイトルを登録しておきます。タイトルメモに登録しておくと、タイトル編集が簡単になります。

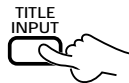
### タイトルコピー

ミニディスクに記録されているディスクタイトル、トラックタイトルをコピーすることができます。

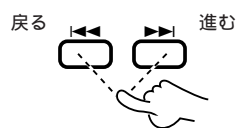
## タイトル編集のしかた

### 1 タイトル入力状態にする

- ① タイトル インプット  
TITLE INPUTキーを押す



- ② 編集するタイトルを選ぶ



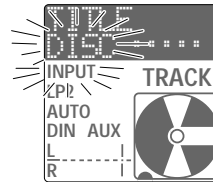
- ③ 確定する



中止するときは、もう一度TITLE INPUTキーを押します。

#### 入力できる文字数について

ミニディスク全体で最大1792文字、1曲につき最大80文字まで入力できます。(英、数、記号の場合)  
カタカナを使用した場合は、1文字あたりのデータ量が多いため、入力できる文字数が少なくなります。  
スペース(1文字ぶんの空白)も、文字と同じ量のデータを必要とします。  
タイトル消去のときはスペースを入力するのではなく、文字の削除(クリア/デリート)をご利用ください。



◀▶▶▶ キーを押すと切り換わります。

- ① DISC ..... (ディスクタイトル)
- ② 001 ..... (トラックタイトル)
- ③ ALL ERASE (ディスクとトラックタイトルの全消去 "カタカナ"、"カンジ")
- ④ [1] ..... (タイトルメモ)

ディスクタイトルのとき：

DISCを選びます。



トラックタイトルのとき：

目的のトラックNo.を選びます。  
(数字キーでも選べます。)



ディスクとトラックタイトルを全消去するとき：

ALL ERASE "カタカナ"、"カンジ"を選べます。  
(本機の操作では漢字の入力はできません。)






タイトルメモに登録する時：

[1] [2] [3]より選びます。



## 2 タイトルを入力する

◀◀、▶▶キーで文字を選ぶとき

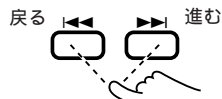
   いずれかの表示になっているときは◀◀または▶▶キーを押します。

タイトルを入力する場合

### ① 文字グループを選ぶ



### ② 文字を選ぶ



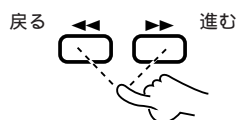
### ③ 文字を確定する



### ④ 手順①～③を繰り返す

タイトルを変更、消去する場合

### ① カーソルを目的の(変更する)文字に合わせる



### ② 文字を削除する

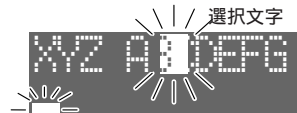


### ③ タイトルを入力する場合の①～④を行う

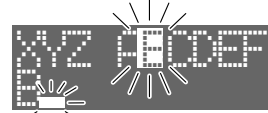
プレイモード キャラクター  
P.MODE/CHARAC.キーを数回押して、下記の文字グループを選びます。 → 48

- A～Z とスペース(1文字ぶんの空白)
- a～z とスペース
- 0～9 と記号
- アイウエオ...ガギグゲゴ...
- タイトルメモ(3種) タイトルコピー(ディスクタイトル、トラックタイトル)

- 表示がスクロールして、(同じグループ内の)すべての文字を選ぶことができます。



入力される場所



カーソルが移動、次の文字の入力待ち

- ◀◀ ▶▶ キーで、入力場所のカーソルを左右に移動できます。
- CHECK/SPACEキーで、1文字ぶんの空白を入力することができます。

## 数字キーで文字を選ぶとき

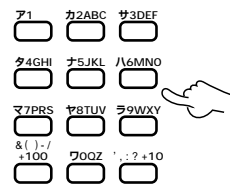
、、 いずれかの表示になっていないときは数字キーのいずれかを押します。

## タイトルを入力する場合

## ① 文字グループを選ぶ



## ② 文字を選ぶ



同じキーを繰り返し押すと文字が変わります。  
(例：を押したとき A→B→C→a→b→c と変わります。)

- 間違えたときは、キーを押します。

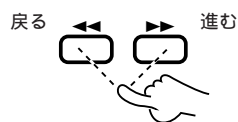
## ③ 文字を確定する



## ④ 手順①～③を繰り返す

## タイトルを変更、消去する場合

## ① カーソルを目的の(変更する)文字に合わせる



## ② 文字を削除する



## ③ タイトルを入力する場合の①～④を行う

プレイモード      キャラクター  
P.MODE/CHARAC. キーを数回押して、下記の文字グループを選びます。 →

: A～Z、記号とタイトルメモ(3種)

: 0～9と記号

: アイウエオ...ガギグゲゴ...と記号



入力される場所

- キーで、入力場所のカーソルを左右に移動できます。
- / キーで、1文字ぶんの空白を入力することができます。




カーソルが移動、次の文字の入力待ち


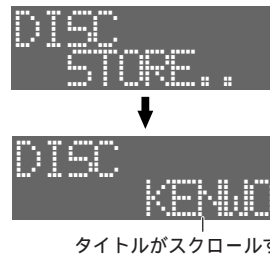
- 他の数字キーや キー、P.MODE/CHARAC. キーなどを押したときも確定されます。

### 3 タイトルの編集を実行する


① タイトルを書き込む



② 終了する

### 4 ミニディスクを取り出す



本体のみ



**ライティング**  
"WRITING"表示中は、録音や編集に関する情報をミニディスクに書き込み中のため、震動や衝撃を加えないでください。

### タイトル編集文字一覧表

次のようなカタカナ文字やアルファベット文字、並びに各種記号などを選ぶことができます。

リモコンの◀▶キーで文字を選ぶとき

英字の大文字グループ	ABCDEFGHIJKLMNOPQRSTUVWXYZ スペース
英字の小文字グループ	abcdefghijklmnopqrstuvwxyz スペース
数字、記号グループ	0123456789 スペース! " # \$ % & ' ( ) * + , - . / : ; < = > ` ? @ スペース _
カタカナグループ	アイウエオカキクケコサシスセソタチツテトナニヌネノハヒフヘホマミムメモヤヨヲラリルロ ワラン スペース - アイウエオツヤユヨヴガギグゲゴザジズゼゾダチツデドバビブベボ ボ スペース -
タイトルメモ/タイトルコピーグループ	[1] [2] [3] [DISC] ([001]...)

リモコンの数字キーで文字を選ぶとき

キー	グループ	12	F7
ア1	スペース [1] [2] [3]	1	アイウエオアイウエオ
カ2ABC	ABCabc または abcABC	2	カキクケコ
サ3DEF	DEFdef または defDEF	3	サシスセソ
タ4GHI	GHIghi または ghiGHI	4	タチツテト
ナ5JKL	JKLjkl または jklJKL	5	ナニヌネノ
ハ6MNO	MNOmno または mnoMNO	6	ハヒフヘホ
マ7PRS	PRSprs または prsPRS	7	マミムメモ
ヤ8TUV	TUVtuv または tuvTUV	8	ヤユヨヤユヨ
ラ9WXY	WXYwxy または wxyWXY	9	ラリルレロ
ワ0QZ	QZqz または qzQZ	0	ワラン
' , : ? +10	' , : ? ! ; . " _ ` \$ スペース		
& ( ) - / +100	& ( ) - / + * = < > # % @		

- 「'」'」はカーソル手前の文字によって入力できないことがあります。
- タイトルコピーは数字キーでは選べません。



## 取扱上のご注意

### 設置場所について

MDレコーダーは、震動に対して敏感な機器です。できるだけ震動のない場所に設置してください。

### 結露にご注意

本機と外気の温度差が大きいと、本機に水滴(露)が付くことがあります。この現象がおきますと、本機が正常に動作しないことがあります。このようなときには、数時間放置し、乾燥させてからご使用ください。

次のような状態のときは、特に結露にご注意ください。

気温差の大きいところへ持ち込んだときや、湿気の多い部屋など。

### ステレオ音のエチケット



楽しい音楽も、時と場所によっては気になるものです。隣り近所への配慮を十分いたしましょう。ステレオの音量は、あなたの心がけ次第で大きくも小さくもなります。特に静かな夜間には、小さな音でも通りやすいものです。夜間の音楽鑑賞には、特に気を配りましょう。窓を閉めたり、ヘッドホンをご利用になるのも一つの方法です。お互いに心を配り、快い生活環境を守りましょう。

### MD DATA ディスクについて

本機は、MD DATA ディスクのご使用はできません。

### メモリーバックアップ

電源コンセントからプラグを抜いた状態でのメモリーの記憶時間は、約1日間です。長期間の停電や電源プラグ抜けなどによって、録音や編集に関する情報(ミニディスク取り出し時に記録される)がミニディスクに記録される前に消滅、または破壊されることがあります。また、消えてしまった情報は回復できません。

録音、編集後には、録音、編集の情報をミニディスクに記録するために、必ずミニディスクを取り出ししてください。

### ドルビーラポラトリーズの米国および外国特許に基づく許諾製品

あなたが録音、録画したものは、個人として楽しむほかは、著作権法上権利者に無断で使用できません。なお、デジタル録音機器(この商品)の価格には、著作権法の定めにより、私的録音補償金が含まれております。

なお、私的録音補償金に関するお問い合わせは、下記をお願いいたします。

#### 社団法人私的録音補償金管理協会

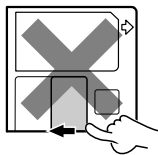
東京都新宿区西新宿3丁目20番2号  
東京オペラシティタワー11F  
電話 (03) 5353-0336 (代表)  
FAX. (03) 5353-0337

### ミニディスクの取り扱いかた

ミニディスクはカートリッジに入っているため、ゴミや指紋を気にしないで、手軽に扱うことができます。ただし、カートリッジの汚れやそりなどは、誤動作の原因になります。いつまでも美しい音を楽しむため、次のことにご注意ください。

#### ミニディスクに直接触れない

シャッターを手で開けて、ミニディスクに直接触れないでください。無理に開けるとこわれます。



#### 置き場所について

極端に温度の高いところ（直射日光の当たるようなところ）や、湿度の高いところには置かないでください。

#### ほこり対策について

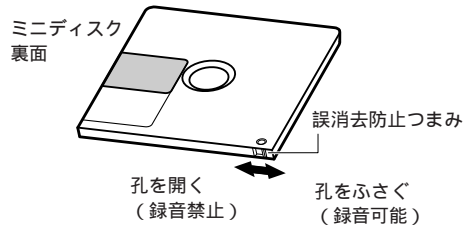
セットの中では、ミニディスクのシャッターは常に開いています。従ってミニディスクにほこりが入るのを防ぐため、録音、再生が終わりましたら、速やかにミニディスクをセットから取り出してください。

#### お手入れのしかた

定期的に、カートリッジについてホコリやゴミを乾いた布でふき取ってください。

#### 誤消去防止つまみ

録音した内容を誤って消さないためには、ミニディスクの誤消去防止つまみを開いた状態にしておきます。再び録音する場合は、つまみを元の状態に戻します。



### 輸送時または移動時のご注意

本機を輸送するときや、移動するときは、下記の操作を行ってください。

1. ミニディスクを入れないで オン スタンバイ "on/standby" キーをオンにします。  
●ミニディスクがないことを確かめます。
2. 数秒間待って、ディスプレイ部が図の表示になったことを確かめてください。
3. "on/standby" キーをオフ (standby) にします。



## メンテナンス

### セットのお手入れ

前面パネル、ケースなどが汚れたときは、柔らかい布でからぶきます。シンナー、ベンジン、アルコールなどは変色の原因になることがありますので、ご使用にならないでください。

### 接点復活剤について

接点復活剤は、故障の原因となることがありますので、ご使用にならないでください。特にオイルを含んだ接点復活剤は、プラスチック部品を変形させることがあります。

サンプリング・レート・コンバーターについて

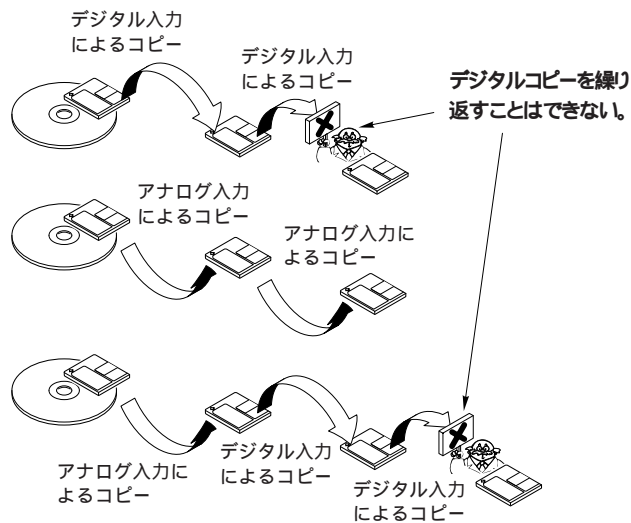
通常、デジタル信号には次の三つの種類があり、これはサンプリング周波数と呼ばれます。サンプリング周波数はデジタル機器の種類によって、以下のように分かれています。

- 32 kHz : DATの標準モードおよび長時間モード、BSチューナーのAモード放送等。
- 44.1 kHz : DATの標準モード、CD、MD等。
- 48 kHz : DATの標準モード、BSチューナーのBモード放送等。  
(DAT:Digital デジタル Audio オーディオ Tapedeck テープデッキ)

一般的にデジタル伝送による高音質録音をする場合、ソース機器側と録音機器側のサンプリング周波数が一致していなければ録音できません。本機は、サンプリング・レート・コンバーターを内蔵しているため、32kHz、48kHzのデジタル信号は、MDのサンプリング周波数(44.1kHz)に変換して録音することができます。

シリアル コピー マネージメント システム  
SCMS (Serial Copy Management System) について

シリアルコピーマネージメントシステムとは、著作権保護のため、各種のデジタルオーディオ機器の間でデジタル信号をデジタル信号のまま録音できるのは、一世代だけと規定したものです。



調子が悪いと故障と考えがちですが、サービスに依頼する前に症状に合わせて一度チェックしてみてください。

#### マイコンをリセットするには

電源がオンのときの接続コードの抜き差しや、あるいは外部からの要因により、マイコンが誤動作（操作できない、ディスプレイの誤表示など）することがあります。この場合、次の手順をお試しください。マイコンがリセットされ、通常の状態に戻ります。

電源コードのプラグをコンセントから抜き、イジェクト（△ eject）キーを押しながら、差し込み直す。

- リセットにより、各種の記憶内容は消滅し、工場出荷時の状態となります。ご了承ください。

#### MD規格上の症状

症 状	原 因
最大録音可能時間に達していなくても、" <sup>ディスク フル</sup> DISC FULL"が表示される。	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 最大録音可能時間に達していなくても、曲数が256曲以上（トラック番号256以上）は録音できません。（トラック番号256未満でも録音できないことがあります。）</li> <li>● 曲中にエンファシス情報などの入切が多く行われると、曲の区切りと同じ扱いになり、時間や曲数に関係無く"DISC FULL"が表示されます。</li> </ul> <p>このとき、ディスプレイのリメインタイム表示は、"0:00"になります。</p>
短い曲を消しても、録音可能時間が増えない。	<ul style="list-style-type: none"> <li>● ミニディスク全体の残り時間が、24秒<sup>モノラル</sup>（MONQ、LP2）または48秒（LP4）未満の場合は、ディスプレイのリメインタイム表示は、"0:00"になります。消去された曲の合計時間が、24秒（MONQ、LP2）または48秒（LP4）を超えると録音可能時間の表示が変化します。</li> <li>● 編集を繰り返したミニディスクの場合、短い曲を消しても、残量時間が増えないことがあります。</li> </ul>
曲をつなぐことができない。	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 編集処理の結果として生まれた曲は、つなげない場合があります。</li> <li>● 録音時間モードが違う曲は、つなぐことはできません。</li> </ul>
録音ずみの時間と、録音可能時間の合計がMD全体の録音時間と一致しない。	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 4秒間（MONQ、LP2）または8秒間（LP4）を最小単位として録音が行われるため、表示時間が一致しないことがあります。</li> </ul>
編集でできた曲で早送り、早戻しをすると、音が途切れる。	<ul style="list-style-type: none"> <li>● さまざまな条件の組み合わせにより、音切れを発生する場合がありますが、故障ではありません。</li> </ul>
トラック（曲）番号が正しく付かない。	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 録音したソース（CDほか）の内容によっては、短い曲ができることがあります。</li> <li>● オートレベルの設定が高いか、または低い。</li> </ul>
<sup>リーディング</sup> "READING"が表示される時間が異常に長い。	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 新品の録音用ミニディスク（全く録音されていないもの）を入れた場合、通常よりも長い間"READING"が表示されます。</li> <li>● 編集を繰り返したミニディスクやトラック番号数の多いミニディスクを入れた場合、通常よりも長い間"READING"が表示されます。</li> </ul>
タイトルが1792文字入らない。	<ul style="list-style-type: none"> <li>● タイトルの記録エリアは、7文字単位で使用されているため1792文字入りきらない場合があります。</li> </ul>

## ディスプレイ表示とその対応

ディスプレイ表示	意味	処置
アンロック UNLOCK	<ul style="list-style-type: none"> <li>サンプリング周波数が38kHz、44.1kHz、48kHz以外の入力ソースをデジタル録音しようとしている。</li> <li>光ファイバーケーブルがはずれているか、接続が不完全である。(接続されていない。)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>アナログ録音に切り換える。 → [25]、→ [29]</li> <li>光ファイバーケーブルを正しく接続する。 → [12]、→ [13]</li> </ul>
SCMS	<ul style="list-style-type: none"> <li>SCMSによりデジタルコピー禁止のソースをデジタル録音しようとしている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>アナログ録音に切り換える。 → [25]、→ [29]</li> </ul>
ディスク フル DISC FULL	<ul style="list-style-type: none"> <li>録音可能なエリアがない。</li> <li>256曲目を録音しようとしている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>録音用ミニディスクを入れ換える。</li> <li>1枚のディスクには256曲以上録音できません。</li> </ul>
---	<ul style="list-style-type: none"> <li>何も録音されていないミニディスクです。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>再生するときは、録音済みのミニディスクに取り換える。</li> </ul>
リーディング READING	<ul style="list-style-type: none"> <li>トラック *1 情報を読んでいます。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>故障ではありません。</li> </ul>
ライティング WRITING	<ul style="list-style-type: none"> <li>編集、録音時の各種の情報を書き込んでいる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>故障ではありません。</li> </ul>
ユートック エラー UTOOC ERROR	<ul style="list-style-type: none"> <li>ユートック *2 の内容が異常である。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>"クイック イレース"の全曲消去"ALL?"を行う。それができないときは、ミニディスクを取り換えてください。 → [42]</li> </ul>
キョント エディット CAN'T EDIT	<ul style="list-style-type: none"> <li>長さが短すぎる曲の消去など、制限を超えて編集しようとしている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>制限範囲内で編集する。</li> </ul>
ok? の点滅	<ul style="list-style-type: none"> <li>"編集を実行してもよろしいですか"という確認のためのメッセージ。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>エンターキーを押すと、編集が実行されます。</li> </ul>
プロテクト PROTECTED	<ul style="list-style-type: none"> <li>誤消去防止つまみが開いている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>誤消去防止つまみを閉める。 → [50]</li> </ul>
プレイ オンリー PLAY ONLY	<ul style="list-style-type: none"> <li>再生専用ミニディスクである。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>録音用ミニディスクを入れる。</li> </ul>
キー ロックド KEY LOCKED	<ul style="list-style-type: none"> <li>パソコンでアプリケーションを操作している。</li> <li>パソコンがハングアップしている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>パソコンのアプリケーションを閉じる。それができないときは、本体またはリモコンのストップキーを数回押す。</li> </ul>

## その他の症状

症状	原因	処置
再生キーを押しても音が出ない。	<ul style="list-style-type: none"> <li>●コードの接続が間違っている。</li> <li>●ミニディスクが入っていない。</li> <li>●未録音ミニディスクが入っている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●"接続のしかた"に従い正しく接続する。 → 12、 → 13</li> <li>●ミニディスクを入れる。 → 18</li> <li>●録音済ディスクまたは再生用ミニディスクを入れる。</li> </ul>
録音ができない。	<ul style="list-style-type: none"> <li>●ミニディスクの誤消去防止つまみが開いた状態になっている。</li> <li>●SCMSによりデジタルコピー禁止のソースをデジタル録音しようとしている。</li> <li>●録音レベルが低い。</li> <li>●再生専用ミニディスクが入っている。</li> <li>●録音可能なエリアがない。</li> <li>●REC INPUTキーの設定が実際の入力ソースと合っていない。</li> <li>●システムコントロールコードでシステム接続されているとき、アンプの入力切り換えがMDになっている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●誤消去防止つまみを元に戻すか、録音可能なミニディスクに取り換える。 → 50</li> <li>●アナログ録音にする。 → 25、 → 29</li> <li>●録音レベルを調節し直す。 → 25、 → 29</li> <li>●録音用ミニディスクを入れる。</li> <li>●ミニディスクを入れ換える。</li> <li>●実際の入力ソースと合わせる。 → 25、 → 29</li> <li>●アンプの入力切り換えをMD以外にする。</li> </ul>
音がひずむ。	<ul style="list-style-type: none"> <li>●録音レベルの設定をしていない。</li> <li>●ひずんだ音で録音されたミニディスクを再生している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●"録音レベルを調節する"をお読みください。 → 25、 → 29</li> <li>●ミニディスクを交換する。</li> </ul>
雑音が多い。	<ul style="list-style-type: none"> <li>●外部の雑音を誘導している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●電気器具、テレビなどから離す。</li> </ul>
パソコンで再生、録音操作ができない。	<ul style="list-style-type: none"> <li>●MDコントロールコードが正しく接続されていない。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●"MDコントロールコードの接続"に従い正しく接続する。 → 14</li> </ul>
録音したMDが他の機器(ATRAC3に対応していない機器)で再生できない。	<ul style="list-style-type: none"> <li>●LP2/LP4で録音されている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●MONOがSTEREOで録音する。 → 31</li> </ul>



トック

テーブル オブ コンテンツ

TOC\*1 : 全てのミニディスクには音声信号以外にTOC (Table Of Contents) という情報が記録されています。TOCとは本の目次に相当し、曲数や演奏時間、文字情報などのうち、書き直すことのできないものが入っています。 → 53

ユートック

ユーザーズ テーブル オブ コンテンツ

UTOQ\*2 : TOC以外に録音用ミニディスクに特有な情報をUTOQ (User's Table Of Contents) と呼びます。このUTOQには曲数や演奏時間、文字情報のうち、書き直し可能な情報が入っています。 → 53

## 保証とアフターサービス (必ずお読みください)

55

DM-VH7PC (JA)

### 保証書 (別途添付)

製品には保証書が(別途)添付されております。保証書は、必ず「お買い上げ日・販売店名」等の記入をお確かめの上、販売店から受け取っていただき、内容をよくお読みの後、大切に保管してください。

### 保証期間

保証期間は、お買い上げの日より1年間です。電池や、一部の消耗部品の交換、ならびに落下、水没など、不適切なご使用による故障の場合は、保証期間内でも有料となります。詳しくは保証書をご覧ください。

### 修理に関するご相談ならびにご不明な点は

修理に関するご相談ならびにご不明な点は、(株)ソーテックテクニカルサポートセンターにお問い合わせください。

### お問い合わせ先電話番号

フリーダイヤル

0120-22-5474

受付時間：月～金曜日/ 9:00～19:00

土、日曜日、祝祭日/ 9:00～17:00

### 修理を依頼されるときは

「故障かな?と思ったら」に従って調べていただき、なお異常があるときは、製品の使用を中止し、必ず電源プラグを抜いてから、別紙の(株)ソーテックテクニカルサポートセンター電話受付窓口にお問い合わせください。

この製品の故障・誤動作・不具合などによって発生した次に掲げる損害などの付随的損害の補償につきましては、当社は一切その責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。

- お客様または第三者がテープ・ディスクなどへ記録された内容の損害
- 録音・再生などお客様または第三者が製品利用の機会を逸したことによる損害

### 保証期間中は

保証期間中は保証書の規定に従って(株)ソーテックテクニカルサポートセンター経由にて、ケンウッドのサービスセンター、サービスステーションが修理をさせていただきます。

修理に際しましては保証書をご提示ください。

### 保証期間が過ぎているときは

保証期間が過ぎているときは、修理すれば使用できる場合には、ご希望により有料で修理させていただきます。

### 修理料金の仕組み

(有料修理の場合は、次の料金をいただきます)

- 技術料：故障した製品を正常に修復するための料金です。技術者の人件費、技術教育費、測定機器等の設備費や、一般管理費などが含まれています。
- 部品代：修理に使用した部品の代金です。その他、修理に付帯する部材等を含む場合もあります。

### 補修用性能部品の最低保有期間

ステレオの補修用性能部品の最低保有期間は、製造打ち切り後、8年間です。

この期間は、通商産業省の指導によるものです。補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

## 【規格】

形式	ミニディスクデジタルオーディオシステム
読み取り方式	非接触光学式読み取り(半導体レーザー)
記録方式	磁界変調オーバーライト
音声圧縮方式	ATRAC(Adaptive <small>アダプティブ</small> TRansform <small>トランスフォーム</small> Acoustic <small>アコースティック</small> Coding <small>コーディング</small> )ATRAC3
回転数	約400rpm ~ 900rpm(CLV)

## 【D/Aコンバーター】

D/Aコンバージョン	1ビット
------------	------

## 【A/Dコンバーター】

A/D変換方式	方式
サンプリング周波数	44.1kHz

## 【デジタルオーディオ性能】

周波数特性(再生時)	8 Hz ~ 20 kHz
SN比(再生時)	90 dB 以上
ダイナミックレンジ(再生時)	90 dB 以上
ワウ・フラッター(EIAJ)	測定限界以下
アナログ入力感度 / 入力インピーダンス	300 mV / 47 kΩ
アナログ出力レベル / 負荷インピーダンス	1.2 V / 3.2 kΩ
デジタル入力	
オプティカル(発光波長 660nm)	-15dBm ~ -21dBm

## 【電源部・その他】

電源電圧・電源周波数	AC 100 V 50 / 60Hz
定格消費電力(電気用品取締法に基づく表示)	10 W
最大外形寸法	
(縦置き時)	幅 96 mm
	高さ 237 mm
	奥行 279 mm
質量(重量)	3.2 kg(正味)



- これらの定格およびデザインは、技術開発に伴い予告なく変更することがあります。
- 極端に寒い(水が凍るような)場所では十分な性能が発揮できないことがあります。

# KENWOOD

製造元 株式会社 ケンウッド  
〒150-8501 東京都渋谷区道玄坂 1-14-6

# SOTEC

販売元 株式会社 ソーテック  
〒220-8136 横浜市西区みなとみらい12-2-1-1 横浜ランドマークタワー 36F